る閣僚

の顔觸

東京二日登電」中央機能が輸出。 「東京二日登電」中央機能が輸出。 「東京社会として、 「東京社会として、 「東京社会として、 「東京社会として、 「東京社会として、 「東京と、 「東京と 「東京と

惟定的と見られ

万数河脈なる西風寺公郎に参向した『東京二日發電』田中内閣總部版の結果、長き邊の御使として鈴木侍從長は二日午前十時五十『東京二日發電』田中内閣總部版の結果、長き邊の御使として鈴木侍從長は二日午前十時五十

西園寺公邸に参向

四園寺公參內

濱口氏を奏薦

時十五分参内内大臣府に入つた「の常道を踏んで民政黨に大命の降」き現象であると思ふ、濱口總是の日につき牧野内大臣は午前九 て畿者を憂慮させてゐたが、義政[爲めに黨派の如何を開はず暮]を即につき牧野内大臣は午前九 て畿者を憂慮させてゐたが、義政[爲めに黨派の如何を開はず暮]、東京二日設電』 中宮山根離表線 中間内閣出現といふ様な噂があつ 下があつたことは父明なる政[東京二日設電』 中宮山根離表線

淑は、從來國民に向つて公酌してゐると

氏に

社會民衆黨

受けも好からう

は大要左の如くである は大要左の如くである は大要左の如くである は大要左の如くである は大要左の如くである は大要左の如くである

(生) へ と變遷してるのだから健康でなければ駄目だ、民政黨の對華政策は日本にだ、民政黨の對華政策は日本にだ、民政黨の對議の計倒田中の全國的反日、全國的打倒田中のあとを承けるだけ反動的に好感あとを承けるだけ反動的に好感力を以て迎へられるであらう、しなし袁世凱氏の帝政時代にも段

指導して質はなければならり 外相に能れがなるかは判らぬが 有口内閣にこの用意があるか何 ではなく馮、欧必ずしも を脚とは断ぜられない、日本は に程シツカリして質はねばならり ない。

支那の 兄として殿に

大

觀

1/1

풺

0

進步的政策を

行はしむ

石本大連市長の談

八心の倦怠を虞れ

田中政友會總裁の發表せる

辭職理由聲明書

菅原代議士等

きのふ芳澤公使から

倦怠に導くの恐れなきに非

憲政常常

追論勝つ

大命降下までの經緯

天氣豫報

二等 三等 等

> (記憶七十五時) (市價三十五厘)

> > 百二十本

復興債券 音

一個 面百

5

六十

目覺時計 机上特件

(角態製色幹)

千三百二十十

三百本

計 器 一新を期す

決死の覺悟を以て

國家のため御奉公

満悦の面持で濱口氏語る

のため御奉受する考へでありました上は決死の懵悟を以て國家話がありました、愈よ大命を拜

盛機を仰ぎ、昭和新政の初頭に 昨秋御擧行の御大奥に際し闔閭 だ氏と偕に、赤誠を扱いて此の がたるの結果なりと信ず、殊に

下間あり、公は誠心を披置して奉答し民政黨總裁漢は継等氏を崇薦して退下した分言中に参内し敗野内府と會見の上陸下に無議項付けられた處、後總内閣の直班者に第二日午前十時四十分者】西國寺公は畏き邊の御召しにより直に駿河畿の邸を出で十

物を奉じて侍從長

野村嘉六、内ケ崎作三郎、山太明、深田敬一郎、中村啓文郎、で其の他は鈴木富士強、寮藤藤で其の他は鈴木富士強、寮藤藤永井柳太郎氏の外務は外れぬ臨

外交にあつては特に强くなつた。程多性である外交にあつては特に强くなった。程多性である。(僕が洗品鏡道を敷設、はを持ちかまへての訪問者になった。)、氏の外交には極めて信頼、因に兩三日前から核離副總裁の外交にあつては特に强くなった。程多性である

は至極元氣であつたや

無產黨

株に今の政治は帯次官庭から が可成り老齢でしかも病氣 がが可成り老齢でしかも病氣 が第一で床に就ひてゐては が第一で床に就ひてゐては が第一で床に就ひてゐては が第一で床に就ひてゐては

▲ 岡部平太氏(滿鐵濱勳會) 同内地へ

日午前十時出帆の香港丸にて

審

政務次官 小川郷太郎の大戦

に参内閣員名簿を捧呈すべく親任式は本日中に行はる

田中首相參內一

政務官

候補の顔觸

闕下に辭表を捧呈

電東京二日發電」民政策が設定を をまた混沌としてゐるが大體左の 民政策が有力と目されてゐる 大型では相常運動もあ想を がよれた。 は相常運動もあ想を のよれた。 のまれた。 のまた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。 のまれた。

凸版と

抵町六六 電話を以て 閣僚に報告

田中首相から

憲政

常道

必要はないのみならず、進んで 必要はないのみならず、進んで としては決して失いする

電東京二日変電一田中高橋は際大 「東京二日変電一田中高橋は際大 「東京二日変電一田中高橋は際大 「東京二日変電一田中高橋は際大 「東京二日変電一田中高橋は際大 「東京二日変電一田中高橋は際大 「中分の 大 し」との御説を厚達すること」な し」との御説を厚達すること」な し」との御説を厚達すること」な してもるが今回は閣談を開き代閣僚に 関係に では、 によってたが 同分の では、 になったが 趣きを報告した

9

あす政友總會

同等につき協議するはずである

民政黨内閣につい

びが對支外が

多少の進步的

政治獲得同盟

(りよ鎌十五圏九十 (側金八十)

態度を期待

日本大衆黨

日出發歸任の途に就いた上京中の神田関東縣内務局長は

神田內務局長歸任

何等異變はなる

からう

幣原外交には信賴が置ける。こ

ないが長らく田中反動内閣打倒を一策の實現が近附すものとは見て居社會民衆黨の見るが如く進歩的政

田中外

が交よりも

金州支署長代理 委員会 金州支署長が新潟長が支援長事務代で池田同庶務課長が支援長事務代理政技のとなった

優れてるこ即斷出來ぬ

前國務總理

孫寶琦氏談

外着の豫定

アメリカ丸無電

三日八時半

松岡滿鐵副總裁談

前十一時本部に臨時幹部會を閉き、内閣總職職後の黨統領及び政府軍東京二日治軍」政友會は三日午午後一時より臨時職員總會を開 方針協議

◆大命民政黨に降下す。世紀 一大命民政黨に降下す。世紀 一大命民政黨に降下す。 一大命民政黨に降下す。 一大命民政黨に降下す。 一大命民政黨に降下す。 一大命民政黨に降下す。 一大命民政黨に降下する 一大命民政政黨に降下する 一大命民政黨に降下する 一大命民政黨に降下する 一大命民政黨に降下する 一大命民政黨に降下する 一大命民政

「一大命民政策」 「一大命政策」 「一大命政策 「一大命政策」 「一大命政策」 「一大命政策 「一大命政策」 「一大命政策 ででは、極めて常然 情報有力に使べられてるた

州する限りでないと信じてゐる

であるわけであつて、これ以上 は、威廉各目の資務で、自ち協議 は、政廉各目の資務で、自ち協議

の策略を保持せしめ、以て 以て輔弼

であらう。 のであらう。 のであらう。 で重要ない。自己成一の後に終れてある。 に連ひない。自己成一の後に終れてある。 無くとも観民多数の首首し得べたが、以て解釈元老が、 を不文律を定めて置かうといよ。 をでいる。 をでい。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでい。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる

も大したことでない

撫順炭の註文

すまし致め薦おを用愛御の計時腕産團るな牢堅確正

り限個萬六數總 迄日末月一十リよ日一月六 間期賣特 能各形十。形九。形八 (9 上層八十四

0



すまへ添枚一券籤抽に毎個一計時腕一コイセ品賣特●

中
賣特
て
に
店
計
時
の
國
全
・

たき策を弄する人々には好偶の数になき策を弄する人々には好偶の数 と言つても民政黨内閣が未た國民多数の信望あるわけでなし。間 にあるかけでなし。間 所も常に實現し得ざる處。 満葉問題を政争の渦中に投する 一方に立を唱へて 大命質は民政権を表し、 全く外れたらしい。今更悔いても前内閣を暗殺した人々の思惑も 成するぞうなことはあるまい。

けふは半夏生

歯がたつまい

加する筈である

日獨競技の打合のために

、 画然投、走高跳、 高跳、八百リレー、 高跳、八百リレー、 ・ 本申込方法。 ・ 本申込方法。 ・ 本申込方法。 ・ 本申込方法。

變り種を集めた

滿洲視察團

十五日ごろ來連する

満鐵でも大いに期待

シュトルツ。ウイツヒマン、ヨ奥式リレーニンゲルハルト。ン、シュトルツ、メイヤー▲瑞 満鮮視察の

構成では左記日島で來連する各學 學生團招待 満鐡で日割決定

▲同十

▲同二十七日 第三高峰 四十名、教授三名 四十名、教授三名 四十名、教授三名 千葉醫大學生三十名 學專門學校生

▲七月六日 水原高等農林學生三二十一名。激授一名 ロヤマトホテルにて茶菓を提供招 万すること」なった 京帝大農學部學生

今秋、明治神宮競技場で擧行する

その顔觸れと種目

を通じて構築内順) 同じく驅ぶ艦ステー

質はうと思つて期待してゐます。ペリツク號の乘組員六百四十名行く滿蒙の姿」を廣く紹介して、港、一號二號浮標に橫づけられ通じて內地の各社會層に「展け、等、一號二號浮標に橫づけられ地間の距離を短縮し、それ等を

なくつて、質は、こんな些末な農園の夏を、かならば、それは山の上でも、海の岸でもならば、それは山の上でも、海の岸でもならば、それは山の上でも、海の岸でもならば、それは山の上でも、海の岸でもない。 りを過ぎてもう蔬菜の時である。 人間は りを過ぎてもう蔬菜の時である。 人間は

クラウド號(艦長ワイト少佐

辯護士引退

市参事會 退職慰勞金の

学件、日期事件、シーズンス事で設廷論業の編纂に努力するととしてはら四十年の記録をとどしてはら四十年の記録をとどしてはら四十年の記録をとどしてはら四十年の記録をとどしてはら四十年の記録をとどればら四十年の記録をとどればら四十年の記録をとどればら四十年の記録を表示してはら四十年の記録を表示している。 は二萬圓 小數賀前助役

事會は一日午後三時より同所機上

理察にて多年實験を積みたる手腕家理髪師を今回數名る手腕家理髪師を今回數名に從ひまして御指命下されに從ひまして御指命下されに從ひまして御指命下されに從ひまして御指命下されに從ひまして御指命下されにがいる。

満洲水産會社の家宅捜査

官が

帳簿全部押收の

うへ引揚ぐ

手數料に絡る背任の問題か

衛 生

0

太田利三

\$ 会…書材の建設廠では今回廠内に 茶中の記述語を有する女子を 事な事務的才能を有する女子を 事な事務的才能を有する女子を 事な事務的才能を有する女子を 事な事務的才能を有する女子を 事な事務的才能を有する女子を

発儀相營可申候 日午後四時四本願

致候間此段謹告候也

上候の遺言にといる。

り生造花放鳥等の御贈與は堅く御し明三日午後四時常安寺に於て執

田田

秀忠

D

ウ

ュ

された畑には人会の花ざかりである。

のます

を細は新聞を御覧願では一切お答へせぬことに ペンキ屋轢かる

(手切品商)

大田房 神響で病氣の爲め大 五分死去致候間此 五分死去致候間此 一日午後五時十七 一日午後五時十七 一日午後五時十七 一日午後五時十七 一日午後五時十七 歯科の これ 坊やの母ちゃんよ

店商村西

ほ 六三六番 御

も御願申上候追而六月十七日より開業仕候御氣に召す樣設備萬端相整へ居り候得者何卒御引立の程幾重に賀候扨て今囘宅の店中村氏別莊を借受け室内も改造し皆樣方の謹啓時下日増しに炎暑相加り候處皆樣には益々御健勝之段奉大

星ケ浦樂天閣西隣(元宅の店中

電話四四六五番

贈答品破格大賣出 大連市西通り九三

ョッ十五日 7 デ

七月一日

上下長太、三浦泰秋、 大の職、藤田偏文郎、小川順や が内職亥氏等を陪賓として見 がらは副總裁以下各理事、各 からは副總裁以下各理事、各

中元の大見切大量出す ◎盛夏の御衣裳用に是非り◎中元の御贈答品に是非り 其他在摩品全部被格提供 大賣出し品を御利用ください 夏の御訪問着 夏の御訪問羽織地十五興 友仙紹長繻絆 帶丸 \弊店の 十五週より 五間より

絹麻小紋

七間より

西陣本明石

十三側より

十三圓より 十三周より

絽 絽

西陣單御召

教専の

上京するもので 陸上競技選手の

岡部平太氏けふ上京

起してゐるが、右に就き今春邊でも相當センセーションを 昨今その餌傷れに就いて内地という。を記述を不見のと來講することに

社書記川上貴三氏に對し 以來の帳簿全部を押收の上、同會

WARREN.

100

月十三

2000

Æ.

日日

まよ

資切れの内に

特別の基金制度も

葉大連組合長これに選ばれ 君が擧げられた、會長は二

立」を具體化

全満聯合會の

(物體重

徒弟養成所

◇…大連印刻業組合臣

望したいことは金の解禁を目すべきだ。僕は後綱内閣

人氣の轉換を

圖るのが第一

西山正金支压長談

四

三、四等の五種とし水分率は一、大豆の等級は特等の外一、一

動機 が減州事件にあった

日

を解禁てふ財界常面の問題を発して保険は更迭した、後金解禁てふ財界常面の問題を発して保険になってあたけに財界はこれを中心に種々の職想と覺悟を有つであたけに財界はこれを中心に種々の職想と覺悟を有つであら、その反映か、今朝日米総替は四十四弟八分の一と四分の一高を報じた、轉じて幾多の重要条件を整てゐる四分の一高を報じた、轉じて幾多の重要条件を整てゐる本ければならぬ、當地財界有力者は新氏閣を如何に觀、なければならぬ、當地財界有力者は新氏閣を如何に觀、なければならぬ、當地財界有力者は新氏閣を如何に觀、なければならぬ、當地財界有力者は新氏閣を如何に觀、なければならぬ、當地財界有力者は新氏閣を如何に觀、如何和る態度で迎へるか、次に列舉して見やう。

對滿政策に 注意を要す

日

政變などには 自分は政治家ではないからと 上京した安田大汽社長語る

新麻袋に對し一枚に付金十錢格新麻袋を以て標準とし醤麻袋は四、麻袋の格差

一月限 局 一月限以後は新足保大豆のみと 一月限以後は新足保大豆の格差 新混保大豆の標準品(新混保大豆の標準 豆一等品)は舊混保大豆の標準

四六〇〇

り舊混保大豆の格差は蘅規程に新混保大豆の格差は新規程によ

大豆混保案と

上場案を協議

けふ大連特産取引人組合

臨時總會にて決定

八倫大豆標準見本理學的分析表は略大豆標期日は兩者とも毎月末日受護が日は兩者とも毎月末日受護が変なる。

建黄 大豆 二六〇〇甲 九二平克州 八三七十枚 三二十十枚 十二十十枚 十二十十枚 十二十十枚 十二十十枚

三二章 表示 光 三二章 表示 光 三二章 表示 光 鐵新(寄三七) 合現定 計物期 五、人〇〇枚三、五八〇〇枚

美速町四丁目

環

ばら屋花環

政變に直面してよ内地 「大変に相場の政力を関する。 「大変に相場の政力を関する。 「大変に相場の政力を関する。 「大変に相場の政力を関する。 「大変に相場の政力を関する。 「大変に相場の政力を関する。 「大変に相場ののである。 「大変に相場のである。 「大変に相場ののである。 「大変には、 「大変には、 「大変に、 佛蘭西料理

大豆門合保管規程とない。

し傷職袋は現行の舊二等迄を合、麻袋の等級を新、選の二種と

りからい

○定期取引(原位經)

0 特撰米推奨 た商店

相場企

午日

岩狹町で番馬

間二十

八圓二十錢 方は是非一 非一度御試 44

ビ内地 地季 一个 とが 競季 四 6 店

一致した要望であらうと信ずるの質現を聞らせたいといふのが一 崎専務に會見 合併派株主高

2

山崎所長の 六格 限り色澤拜見を品質理學的性質の外特。 人と定の項 のは等級 ・千分の

等、一、二等品 六ケ月 等、一、二等品 四ケ月 三、四等品 四ケ月 三、四等品 四ケ月 三、四等品 四ケ月 三、四等品 四ケ月 第下大豆の九十八%とし大體特等下大豆の九十八%迄を收容し不合 特二%とする事

満鐵事業遂行は

政變に超越が必要

山本正隆支配人談

をの要求に對し高崎惠海は左の通との要求に對し高崎惠海は左の通常したと 近く木下關東長官も歸任される ことになつてゐるから右につい ては木下關東長官と相談の上一 身上の態度を決定したいと思つ

一、上場の時期 新混保大豆は昭和四年十二月末 日限以後の先物取引に本標準品 豆及耳麻袋は得規程による事 電大豆より實施し昭和三年電大 電大豆より實施し昭和三年電大 で、新混保規程による大豆の受 が設け、新混保規程による大豆の受

普通大豆、三等品に對し四等品格上二等品五銭格以下格上二等品五銭格以下格上二等品五銭格以下 大豆(一等品標準)特等品及二等 通大豆(三等品標準)四等晶代

無配變らず保合開散裡に散贄した 別際氣配は現四十一銭、七月三十 六銭、八月三十五銭五厘、先物三 十四銭七厘旦當であつた ・等、大阪三品三四圓安を報じた ・方で、大阪三品三四圓安を報じた ・方式市は買氣売々に保合商駅を呈 した 同同顧銘

三三三位 哥古古段

三三一棚

· 影170、五

英國ブラ

粉

右格笠は一ケ年を通じたるもの

0000數

111212111

(大年) (現物 大40-11 大4-2m 大年) (現物 大40-0 大路10-0 大路10-0 大路10-0 大路10-0 大路100-0 大路1

要 17益枚 17是5克回 全 17益枚 17是5克回 可以 17是5百万 可以

神学では、 神子では、 神子できるが、 神子できるが、 はずれるが、 はず 11 向中 答奉

實用に

たず十十世前の前 周囲側 岡岡町 提 八五三十 ナニー 大三十二 供 十十十 ナナニー 供 鹼圓駳鉄錢錢錢錢錢錢錢

111番1次111 1111蓋表のの11名8別 周用 郷店、日用雑貨店、 大大王等

1 Ŧ ンド會

はます なの御來遊を御待ち なの御來遊を御待ち 五世

拜啓愈御清祥之段奉賀候陳者去る六月廿九 野別所に合併の件を附議せる結果原案賛成 を得て請求原案可決したる旨株主各位へ 成を得て請求原案可決したる旨株主各位へ 成を得て請求原案可決したる旨株主各位へ 成を得て請求原案可決したる旨株主各位へ で議長が閉會を宣言したる後散會せざる一 で議長が閉會を宣言したる後散會せざる一 で議長が閉會を宣言したる後散會せざる一 で満長が閉會を宣言したる後散會せざる一 で満長が閉會を宣言したる後散會せざる一 で満足に依り決議せられたるものにて當 で記し出三平氏外四名より株主多數の賛 で記しれたるものにて當 で記とは無關係に有之候に付此段爲念中添候 昭和四年七月1日

1111114

前により

展展及 前場等 あるだり

一十十十九八七 大

各

111111

111

桑特 奥 地 市況能

場田

鍋御料して別る

物理ま本のの

前 ・ できる。 できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ で。 東京期米 限展展

銀塊及爲替

場電報

ルなかつたが、トーキーといる 電楽と共に健康疾輩そのものも 実晴らしい健康をとげ一日の総 実晴らしい健康をとげ一日の総 大・1キーは寫合は非常な人気を トーキーは寫合は非常な人気を トーキーは高台は非常な人気を

ものが全部ニューリールであったが、トーキーに對するに対なかったが、トーキーに対するである。これがため場がサイレントに比較してどの程度ぎこちないものであるかは實際に知る事が出来なかったが、トーキーに對するほんや

語 两 際 寛 次 郎 院

音に類はされるといふことがなかった、そして機能された音は を音を滑すのに充分なだけ大き を見とシンクロナイズされて一 たりとシンクロナイズされて一 たりとシンクロナイズされて一 たった。たら残念な事は上映された

音に傾はされがすると

商福福豐東

・「作等現在の昭和キネマが動き」 ・「作等現在の昭和キネマが動き」

フオツクス社の試寫會

して、報光は云ひにく

で安心をして聞つたのです。もうしたのですか」

器梅

提 廣

四話電

そうべんいい ちゃん

潘

番五

=

ヒスイの眞便をお知らせする店が生れました。 お知らせする店が生れました信用第一品質優良値段は廉價

淡皮

西

ネ眞

大連市

沖 本 中

リギ店

ブ

日

映車演藝生

活氣を呈す

とだらう 4また映画などもない、それともか、トーキー時代か、それともか、ドーキー時代か、それともが高くないの観察を見てどんな風に考へたたが高くない。ことを強いてるたが全球には新経営者になってたが高くない。ことを実事には、新経営者になってたが高くない。ことを実事には、新経営者になってたが、集りではいさくか映画人の世界があれば入るのでは、からない。ことを実事には、まなどは正直なを扱いてるたが、本はをは正直なを変が、よければ入るのでいる。と称がよければ入るのでは、からない。と称が、よければ入るのでは、からない。と称が、よいともが、まなどは、一般には、ないのでは

發 要 本 舖

迪モ

市築町

木二 洋三

行二

满

高古が奥へ口を向けて呼ぶと、「お幸さん!宮部様がお歸りだ」

净

「お前の限は、森の中の泉のやちしてゐる。

をじつと見詰めてあるやうな眼を

を光は、何時だったかさり云つ

春光には、先刻から氣になって「幸さん」

肺病

かり以に

獨乙製PIANO各種

B

畵

大に逐篇名きし等望来 フ・クツリエ品作特社パ 演主督監ムイイロトス

演拾六日

助與行

見落すまいぞ

ス

(四)

異

男――。 「よう、お飾りだ」 を場で迷順毛を使つてゐた弟子のが で迷順毛を使つてゐた弟子のが 處女受難(六)

四 「さるずつとおびりなさつて―― になさつちやいけませんぜ。先別 た。しかしながら二人には、管理 がい、自を開けて程光を測へ 「それならい」のですが」 た。が、自然に二筋三筋臓が流れ チラノーと粉雪のやらに散つて、お丘の心は潤され、して、こうとして笑へなかつたのだらう と、同時に障子が中から開いて では、髪がずつと髪くなつて、からして、はんで独さん、お壁りがなくて結構 「あら、びつくりした――お輝り のが着物を破りさらに張った がいして、です。 こうな観になつたのは、微笑 屋の障子に手をかけた。 (はしい色質が増してゐる。そして、のですが、自然になったのは、微笑 屋の障子に手をかけた。 (はしい色質が増してゐる。そした。 一様によった観になったのだらう と、同時に障子が中から開いて で響の上に、二つのふくらかなも 方面に 「小父さん、お壁りがなくて結構 「あら、びつくりした――お輝り のが着物を破りさらに張っき とこと です。 こうな観になったのだらう と、同時に障子が中から開いて で響の上に、二つのふくらかなも 方面に 「小父さん、お壁りがなくて結構 「あら、びつくりした――お輝り のが着物を破りさらに張っきって するの こうなん いちばい といき です。 こうなも です。 こうなもの して、 こうなり です。 こうなり です。 こうなもの して、 こうなり です。 こうなり でする。 こうなり です。 こうなり です。 こうなり でする。 こうなり です。 こうなり です。 こうなり です。 こうなり です。 こうなり でする。 こうなり です。 こうなり でする です。 こうなり でする でする でする でする でする こうなり でする です。 こうなり でする こうなり です。 こうなり でする でする こうなり でする こうなり でする こうなり でする こうなり でする こうなり できない できなり できない でする こうなり できない でする こうなり でする こうなり でする こうなり できなり できない でする こうなり できない できなり できない こうなり できない こうなり できない こうなり できない こうない できない こうない できない こうない できない こうない こうなり できない こうなり できない こうなり できない こうなり できない こうなり できない こうなり できない こうない こうなり できない こうない できない こうなり できない こうなり できない こうなり できなり できない こうなり できなり できない こうなり できない 「それはく」」
「おかりて光に立ち、解光のために奥」またしても読が強絶える。
「親方が髪な顔をしてますが、氣 話すことも歌くこともないのだった。「我方が髪な顔をしてますが、氣 話すことも歌くこともないのだったから」
「いやっ少」しも氣 がつか なかっの があつて、お 丘の心は潤され、「音楽」だから」
「いやっ少」しも氣 がつか なかっのがあつて、お 丘の心は潤され、「音楽」になっている。
「いやっ少」しも氣 がつか なかっのがあつて、お 丘の心は潤され、「音楽」になっている。
「ないのですが」
「いやっ少」しも気がつかなかっのがあつて、お 丘の心は潤され、「音楽」になって、 「音楽」になって、 「音楽」、 「音楽」 「音楽」、 「音楽」

いふまでもなくそれは幸だ りた二つの製は、今も深い寂寞とされ、何時までも變らないのは二 が、何時までも變らないのは二 たは、前に見たことがなかつたやうる つらりに限についた。こんなものして、満田は近頃の活気を示してでいた。こつのふくらかなも方面に亘つて大に爲す所あらんとくはしい色頭が増してゐる。そし

を記し、1855年にでしている。 全國の主要都市に資々教育映画 が設立されそれた、活躍を開

近 編造ウーファ社 大震戦子、紫山駒之助士 震歌子、紫山駒之助士 東上 地域の 大紫山駒之助士 東上 地域の 東京 大紫山駒之助士 東京 大紫山駒之助士 東京 大紫山駒之助士

東上 見よ…アルブスの大自然を 背景に展げらるム人間愛闘 部 謝恩超特別大興行 督•鈴木傳明•田中編代主演 解說……香川醉夢· 松葉詩朗

阪東妻三郎プロタクションオールスタカスト ··· 玉井賢一·千代田嶺月

七月一 經鄉 日より

日るり

八本 かった かった ない

0

中,

プロに行かず右太プロに近く

日より

ラシャメン

五月信子の 乗書の王! メトロポリ

人造人間の戀

常店にて御買上の品が御氣に召さぬ場合は何時 商萬一常店にて御買上の品が御氣に召さぬ場合は何時



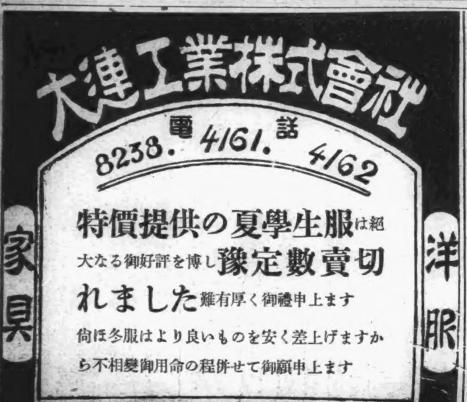




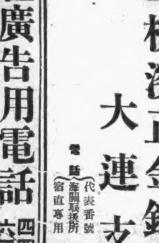
暗奈良千 見科 野路 郎 郎 一郎

にデヘンドして『世界地理風俗大系』に與へられたこ同様にデヘンドして『世界地理風俗大系』に関する事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯擧を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯學を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻を刊行するの壯學を各位に報告し得る事を喜ぶもの一巻は一巻に満天下を驚倒し、且つ歡呼事業の進捗を見、一巻は一巻に満天下を驚倒し、且つ歡呼事業の進捗を見、一巻は一巻に満天下を驚倒し、且つ歡呼事業の進捗を見、一巻は一巻に満天下を驚倒し、且つ歡呼 風·俗· 體裁四六倍大判、育皮 受けませり 内容見本 會金は申 の讀者に告ぐ 次申 九一ノ一町錦田神京東 **●**○四二三四京東替振 一七四點電九三三四田幹

本配囬七 を活寫し來り、與味津々たるものがある。 と話寫し來り、與味津々たるものがある。 と言語に支那北地理的特長から民族的特質、歷史文化、政き群説し、國の首都たること三百年に及き群説し、國の首都たること三百年に及ら黄河流域の大都小景を語り、更に三千の古蹟に富む大同龍門等にまで及び、弊る珍奇最新の寫眞無感數百を配し、支那北の長城、我國と交渉の最も密接な山東省、他理的特長から民族的特質、歷史文化、政告群別と、表だ手のついてゐる支那、昔から四に出地と、未だ手のついてゐる方形、古がら四に出地と、未だ手のついてゐるが、それ丈け に高色れ製あ2億 は賃捌たるると映画 りとは影響。等という。 を興無会に花さは を実施と花の出近 にあるこの巴た代 にあるこの巴た代 にあるこれの里大代 にある百其如里大世 にはる音其如里大世 にはる音類の を本に近くを花界 の文余代数初聞が とる的はめでメ 全文 を謝絶す。希望者は今直く書店へ一登 長科内地三十六銭海外六十五銭 でする。 本配回二第 本配回三第 亚弗利 衆國 FI 加篇 支那問題研究所長 法大数授經濟學傳 文 矢長田闕 佐後木 野野村野藤朝培 仁 太太 一朗剛貞弘郎郎 恭治 一輔平 滿 満炭手ほどき 新興支那 ※順列を ※通列を ・二四の ・二四の ・二四の ・二四の ・二四の 支那







蓝店

支店出張所 (東京、東京九ノ内出表) (東京、東京九ノ内出表所) (東京、東京九ノ内出東京、東東、東京、東京九ノ内出来) 立本 金金 店 橫 濱 市 壹億圓(全額拂込濟)

積資

殿新满安地圖(四年版) 海州四一個 清。一歩

蒙の

0

敢て聴者の解右にすゝめる。 暦の興趣を覺へるであらり。 酸素

會協

論旨は公平にして私なきは

では既に定評 識者は一

岛化交日中

評

デリーニウス紙上を飾り好評嘖々。! 専問題に觸れての著者の所感を蒐め 本にもので、英文としてマンチュリア たもので、英文としてマンチュリア

滿洲寫真帖(四年版)沒称一四五十餘

保太郎將

内案好の泉溫 銷

(刊日)

任

日

等位

男

爵

原

喜

重

任

につき男の意向を聴取すると共に、でき男の意向を聴なし虫閣僚の銓衡を拝受せる旨報告し虫閣僚の銓衡 を拝受せる旨報告し日町區上二番町に訪問し

郎

内閣の

任 内 正四位勳二等 等功四級 等功三級 財 達

農 司 文 部 林 法 大 大 大 正四位 臣 從三 正四 位勳 位勳二等 子爵 町 今日演口總裁より関を愛ふるならば財政緊縮、財界整理、関民 生活の緊張等當面の問題に當つ て貰ひたいとの変地を受けた、 余も日本の現状に於ては至極同 感であるから喜んで創受けした 次第である、余は載相としては 工度目だが山本内閣の際は僅か 三月ばかりで細かい事は何も知 らので大に勉强する。今日の我

新藏相の方針

官制攺正案中

部審議

正三位勳 正五位勳三等 勳三等 江 松 泉 田 木 又 次 治

(日春水)

商

工

大

正四位勳二等

俵

鐵

道

大

報

任

任

之 士

百

拓

大

大

尚任

時藏

左の大

如く任命あらせる

正四位勳三等

井

準

正五位勳四等

鈴れ

木

た

任內閣書記官長(一等)





「可配物便郵種三第)

(東京二日發電) 渡口民政黨總裁 (東京二日發電) 渡口民政黨總裁

成し棒呈し度いと思つてゐるにつき相談した上閣僚名簿を作の御宅を訪問して閣僚の人選等

四日事務引繼

震可民政業は裁判の

一日整電」田中首相は三日

と、濱口雄幸氏語る

文教しました。之から山本顧問、 大命を拜しましたので謹んで拜 はのので謹んで拜





















見解を綜合するに外づ第一に髂原の主張から見て支那郷が近く開始に政策所閣に對する蔣州各機構の男が外相たることと、民政黨在來民政策所閣に對する蔣州各機構の男が外相たることと、民政黨在來

二日東京發歸任

同様の検抄をなすところ が氏は更に太郷富士見町 が氏は更に太郷富士見町 が氏は更に太郷富士見町 が氏は更に太郷富士見町 04 十三大臣の不堪を続は六〇、武師を六十二就表 六九

間

である、現にしてもでは代表からである。現にしてもでは現が外が、「病物を観視してる中質相が外が、「病物を観視してる中質相が外が、「病物を観視してる中質相が外が、「病物を観視してる」としている。

除六十歳とあつては新人特認連からいふと情ないわけである。 数言記しない。 警視總監は 松村氏に内

顔觸

を標榜

では、此の短時間に疾風迅雷的にやつてのける手際は鮮かであるが、此の短時間に疾風迅雷的にやつてのける手際は鮮かであると質讚する他ない。 とであらうが、總選撃を控えてとであらうが、總選撃を控えて

整

を収拾してやつて臭れ、ば良いが百七十一名の業員では相當困が百七十一名の業員では相當困れてゐるようだがそれも其の時れてゐるようだがそれも其の時

床次竹二郎氏談

豫算を緊縮し

金解禁斷行か

には適低者である。能感動もあり、日銀織動である。 をあらうが、財政方面で大手腕を からうが、財政方面で大手腕を があるのでは無いとの評である。 であり一は前に撃ける反政が多としての活躍に撃ける反政が多い。 であり一は前の関連の故事に関うて来たのは であり一は前の関連の故事に関係が であり一は前の関連の故事に関係が であり一は前の関連の故事に関係が であり一は前の関連の故事に関係が であり一は前の関連の故事に関係が である。

0

いふことには一向お構ひなし、電に選挙のための所相である。電に選挙のための所相である。電し今度の入閣である。自じ今度の入閣である。は前回とと、の論評がある。但し今度の入閣である。

二案に就て

クサ 及職器の特 根本薬局電大門

諸貨物運搬 三順、二順、一順根の田を飼利 用下さい 田下さい 一個で出版タクシー 一個では、一順根の田を飼利

何見 機科響院

浅速町五丁目二百一番 ※ハリ炎専門療院

◆定期後 %(單位級) 常付 高值 安值 大引 常付 高值 安值 大引 常付 高值 安值 大引 一時中 九量 11月0 1月20 二時中 九量 11月0 1月20 1日 20 1月20 1月20 日本高 銀河企大馬 250 250 1日 20 1月20 1月20 日本高 銀河企大馬 250 1月20 1日 20 1月20 1月20 日本高 銀河企大馬 1月20 1月20 日本高 1

◆玩物後端(銀點

牛乳 なら大正牧場 作野町入九 電光点、公司 大連牛乳株式会社 大連牛乳株式会社

五 大連案內紅 電六六六三 一五 大連案內紅 電六六六三大連案內紅 無月二分無手數科 而通三 而通三五電六六六三大連案內紅 而通三

(当月) の御用命は 矢野聡甲事門店電話入四二一

皮 膚病 性病 維 素 素 素 素 電話六四四一番 野中醫院

ミシ ンと審管器は 音野町二六一萬常龍七八五九 音野町二六一萬常龍七八五九 一方野町二六一萬常龍七八五九

ラヂオ英語講座

大連放送局七月三日午後七時三十分 講師大連彌生高等女學校茶谷茂 第十四回(第十四週第八課)

A DOLL-STORE.

1. What can I show you, sir?

Show me some dolls.

These are good ones.

How much are these? These are five ven each.

6. You have two prices.

7. No. sir, we sak the real price.

I will take this one for four yen and fifty sen.

9. All right, sir, and don't you want anything

Let me see those on the shelf.

11. They are specially made ones, sir.

What do you ask for them?

13. This one is seven yen and that one is ten yen. 14. If you come down a little, I will take that one.

15. All right, sir, you shall have it for nine yen. 16. Then I will take it.

17. How would you like those Chinese dolls? They are rather cheap. Those on this shelf are one yen each and those on that shelf

are fifty sen. 18. Then I will take two one yen ones.

19. Anything else? 20. No, nothing more to-day. Please make a parcel of them.

21. All right, sir.

My little daughter is very fond of dolls.

日

中書 邦文献文タイプライ 大山通(日本橋近) 吉 野 號 大山通(日本橋近) 吉 野 號 大山道、日本橋近) 吉 野 號 大山道、日本橋近) 吉 野 號

春塩病

口

科器尿淡毒梅属皮

大雅芝罘職命令定系統
を表現、七月三日午後六時職事丸、七月三日午後六時職四登州府安東命令定期船
を表え、七月六日午後六時を表え、七月六日午後六時、大連加賀町三〇大連加賀町三〇

作定し

てゐる

奉

天

外來野球チー

七月九日國大を始めに

關西大學、松山高商

ポン

IJ

ク戦

は二百一名、卅一日は九十三名でになつたが黙呼を受るものは卅日▲

→守田本天民會長り過率

一日朝長春よ

人林撰順署長 一日朝大迪より 過率歸無

カス国一行六十八名日無順往復

▲際田閣東軍經理部長 一日朝虎 石墓へ ◆築島哈爾賓事務所長 一日急行

一日急行

簡閱點呼施行

日に至る)登業報告書、任借難照生主教會は小儿年午後一時より同様主教會に於て開催され昭和四年起事務室に於て開催され昭和四年記書時期(十二月一日より五月卅一本

長春軍雪辱

對撫庭球戰

ので送機械監操的値動に驅られ、ぶら下つている氣になつてる

0

"(可言"称便如植三草)

車、それから馬車も腕車もないの午前九時三十五分撫順致深井子下 ときめた

日

創立二十周年

歴史は古し蓋平公學堂

應接間も所狭きまでに飾られた を不省長直金鎧、前東三省保安 を下職長・皮瑙氏以下各腸係者よ り贈られたる金襴の記族二十九 り贈られたる金襴の記族二十九 サ、吉長銭路局より贈られたる 大型銀賞牌、大街大湖の各内地 大型銀賞牌、大街大湖の各内地 大型銀賞牌、大街大湖の各内地 大型銀賞牌、大街大湖の各内地 大型銀賞牌、大街大湖の各内地

り間次に賞品を受取られたいと
・ 一角景品は乗る八日までを期間とし
・ 「一角景品は乗る八日までを期間とし

本山氏息計報 まるニナ

行ひ廿七日迄に 隊 の程城東我自庄に於て閣替演習を 0 露 營 たが若し實行することになればチはたが若し實行することになればチは

の被國は巧に響官をまさその影す をでは非常線を誤ったが神出鬼没 とでは非常線を誤ったが神出鬼没 をでは非常線を誤ったが神出鬼没 を表する。

遣外艦三隻

鮮支人亂聞

も見せなかつた

日に入港 大阪場で鮮支人三十名大格闘を始めている。

機械軍遂

に勝つ

現徒歩旅行業喰への元氣 見徒歩旅行業喰への元氣

步

サザ・ザザザ サール かん 八条 大会銀 柱 香 ねん

けに属しそれに乗つて漸く率天へ

チュア決勝戦

商業實習所の

遼陽商

店街建設

課院がまできた。 安哲学館を豊夜二回に直り撃行する を哲学館を豊夜二回に直り撃行する をおい決し出演兄童は目下熱心に を発した。 のいたは、 のいな、 のい

に決せりと 金は積立金並に後期候避となす事

取引信託重役會と

株主總會

取引信託業績

慰安音樂會

小學校の父兄

ょ

至急設計入札に附し

月末までには完成

Ξ

七 今夏奉天麻俱と試合を學行するこ。表財産食食、損益出ままと附近、 大月十一日(日)對极山高商 七銭である。 大月十一日(日)對极山高商

十一萬五千三百八十六國八十四銭 世一萬五千三百八十六國八十四銭 芸は常期純損金は九百五十二國廿 大きな。

元川領事師管 銀事院管士元別が回の観察を終へ二日職者 戀の鞘當て

柔劍道の暑中稽古 では、またいでは、またのでは、ま

言でこの見行を演じ搭連方

荒繩で縛り上げ

餘煤 燼都

る。金製五百〇四個、現大洋三百三」、中野底物製製、竹中地方係主任。 中六元(金製換算三百二十二個、独中野底物製製、竹中地方係主任。 東八十五個)金線水晶の銀鶴時。 東八十五個)金線水晶の銀 学 その観察の目的で地方保主催治の 製工は を終れる「東陸」見物に三十 製工は を終れる「東陸」見物に三十

晴の記念祭

ほまれに輝く 城

榮ある優勝杯は

(要集件) 四一〇 (現集件) 四十〇 (記集件) 四十〇 (記集件

戦の 跡 三皮 宮本金三 物様で迄に緊張した前局の後を物様で迄に緊張した前局の後を受けて、見参々々と名乗り上げて来たの一人藤川德臧君同君の様のは非常に元氣積減と言ふ有様で境然猪武者の趣がある。殊に其治撃力においては他の初段級何人も追離を許さぬ褒い處がある。殊に其治撃力においては他の初段級何人も追離を許さぬ褒い處がある。

四步▲六九玉△四一玉▲五八金五八金

(未井君一同野 | 回目)
(十一)手 初段△永井喜太郎
△七六歩△三四歩△二六歩△八
四步△二五歩△八五歩△七八金

大連将其聯盟特選

滿日五人拔戰

悲歎の涙

八ミ支那人の混血

武蔵野の

今昔

第篇教

育美談語言

YL

文明か

日本が文明か乃木大將と國民性

0

博

士より

ケ月は

百久。

百久服めば

本品の採色は如何なる暫飾の 窓所しそれが加となり全球の液 ではずに服めば直に費中に於て ではずに服めば直に費中に於て

99

力を増す事力を増す事

(一) 観点者白の人は意に報告

病院に入院又は醫者にかゝり服薬中、

層が是れまで取扱つた全快者中

質の薬を服んで全快した人も澤山あり、

入病院や陰者をやめて商會の薬のみにて

の薬を服用せられた方が安全である。そ

れは、素人目では病狀が良いやうに見し

といふと、病院や陽者にか、りつ、商會

全快した人もあるのであるが、

いづれか



院病に並者 有田ドラッグ商會主

の薬を服用せられることが、最も安全な

有

から、際者や病院の診療を受けつ、商會

も、病症の悪化しつ、あることもある

慶應大學病院で 内に決定

有田薬と醫薬で全快

安藝宮島

天下の大問題ごなつた良薬

左記

専賣所に

上 彌

後素を買求めました。

り呼吸も咳も樂に ロクマクの

風邪から高熱を疑し胸部に疼痛を 難柄が三週間で 立派に全快

和 全夜者 吉田亮吉 全快の悪に浴

けました態、片脈は脈尖が答見でいたのな音響にて 展彰一週間ばかりにて胸痛は止り 有田栗の服栗と共に近くの御大師の被薬とを買求めて殴りました。

有田薬で

様エタツ田長 られたが五温間服薬の後には立家 かくも再び元の健康間にかべる事 長さんは經過のよいのに置いてる 有田舎が様に製業の唱と記く歌曲が出来たのはこれ候に御大幅様と 崎 全快者 長田ツタエ 宮 黒代海郡三財村並木 いんから診察を受け 肺病が悪全快 五日目から続は下り殿籍は止り身 版が際になり金徳が進み次第に健 版が際になり金徳が進み次第に健

有田血液素

のは牛島内、魚鋸、下子、ソタ

地性の後巻物を揺取せしめ、若 動性の後巻物を揺取せしめ、若

を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増する。 同は本品 有田 血 液素で ある。 同は本品 有田 血 液素で からざる 権 服器 変の 一般 整 報音には まく

門下の屋南の日も属の日も農業の 日下の屋南の日も属の日も農業の との言葉を聞くに至り夢の様な感

は偏に有田芸 が再級もせず至徳元氣で居ること 思知の品は無論被激物には述 くは食後消化薬を服用せしむるの関係に消化作用が膨くなって 有田 血液素 を削むしたの 知のである、所で膨慢者や膨慢者 ひ髪いので 常額曾は之を強へ 有田 血液素 を削むしたの 知るから異常の破害物を指取す である。

根 金语 森山 林遊 難病を

喜版した 信は愛の特製治肺剤及肌肉 敬へられた養生法に

の何となくスグ使きが来て気分が筋のの何となくスグ使きが来て気分が筋のない。み咳が出で少しの歩行にも足がだっているく呼吸苦しく感が飛っているく呼吸苦しく感が、 好いので驚いた院長が餘り經過が

れて一時も早く全性し幸福になったが多いので私の電融談を御知らせして有出部は標の良繁を服用せらして有出部は標の良繁を服用せら

不勝ります。

名 市聚酯甲橘町岛走六五地 全代者 桑山 英子

英子

て蘇きたいと思ひます。

無いない。 生院に人院就し、 生院に人院就し、 を変えずる。 かの変素を受けてもなる要素を受けてもなる要素を受けてもなる要素を受けている。 からないでは、 ものないでは、 はのないでは、 はではないでは、 はのないでは、 はのないではないでは、 はのないでは、 はのなないではないでは、 はのないでは、 はのなないでは、 はのなないでは、 はではないではなななななななななななななななななななななななな

おの主任様とも相談致し匿宅の上 も原紙数し有田様製冶版郷と有田能数を計く様になりましたので會 有益な養生事生光と云ふ桑考書を配換を計く様になりましたので會 有益な養生事生光と云ふ桑考書を記かりで夜は溢げが出たり時々」から釈切に養生法を歌へて顧き且

種々の手営

では悪を脱用しつ、器師の診断を受ける方が病気の全快する有様が

有田血液素を服めば、左の 類となるのである。 ますから有田芸がを関るものがあり 筒一 七物を買るものがあり

になんとなく身態がだるく気分が ましたがさつばり効果なく、 次郷

りであつたでせう、本常に生きました。共時私の騒ぎは如何は 受けました戯、肋膜炎だと云はれ 村間の診察

地在所所實寡(部西)グッ を配々能みましたがどうしても要が能道戦ですから)等へ入院加郷 ら毎日暦者通ひを我し股禁しまむかでした。それ りであつたでせる、 歌上で有田ドラツグの薬の有効な 効果がないものですから

して居つた、其の継続が商曹の良豪で、れた紀米、偽りでなく政策の全快者である。 を天下の智単に澄波したのである。サア 密解は別談れ曾一般の冷談の的となり、 お金全快者が出来るので、商曾ではそれ つたので、小野正大となった部である。 サアは別談れ曾一般の冷談の的となり、 なる全快者と美の有効なことが立識せられた実際である。 した全使者を全員の無難に関いて、新聞に澄波、迷ふ事なく商會の良豪に刺つて一日も選した全使者を全員の無難に関いて、新聞に澄波、迷ふ事なく商會の良豪に刺つて一日も選した全使者を全員の無難に関いて、一されをしも信ぜされば天下に信を置く した全使者を全員の無禁に関いて一般的 く全様せられんことを祀る。

一洋東

旅順敦賀大連但馬町

高東 田町

から発生の指導を受け降宅服職会が、大石川間分)とを買求め主任は、一週間分)とを買求め主任は、一週間分)とを買求め主任は、 すっこれ解有田野林袋のお配とはすっこれ解有田野林袋のお配とは した。その後今日まで限費も強さすつかり気性して居ると云はれま 祖島指殖性の診察を受けました記 大陸祭になり気分も孵れて来たの

野女村重市

元山本町三新機州常盤町平壌 局前



間に痛みを感ずるやうにな

並製治肺劑於器 计五层

個質取の際左の如く藝和語に極級に

哈爾賓傳家甸

二浦本

87

南浦三和町

を買る者あり

スン

が、食感を進め熱

本総大阪内本町二

荷田ドラツグ

有田

香松

線 東 会 所 大 門 町 三

肺病なく請合薬

し粉は

ーエチ

泉錦

京

本

0

安東縣市場

奉天紅

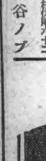


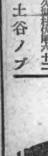














お池の噴水

整體小學校の運動場の片隅に小さなお池が出來ました。まん

を入れて下さい。お願ひ申しましてかり自分をみがくことに力が

ちやうしんきあてて

しんさつし

にんぎやうに

りませんか。――皆さんは自分はちつともみにくいところがあ

おいしやさまが

ねせました。

かりやつてるますかっ皆さんに

べつとの上に

をして言葉の分らぬことほど をして言葉の分らぬことほど

がはいいかはいい

にんぎやうさんの

おびやうきは

おくすりのます。

を飲へていたいきました。

「カツソウ。カブシク・カケツ

すつかりなほつて

書」である。これは現無井海軍 を表示の連出業が刀目が、夫君の 大將の祖田業が刀目が、夫君の 大路の社職業が刀目が、夫君の 大路の社職を書め一子信磁 の大路の全職を書め一子信磁

さんは離もくかはたしてしつさんは離もくかはこれまで以上に考へることがなくているでせらかの情

おにんぎょさんを

んに負けぬやうにもするとの出

おいしやさまと

いきました。

かんごふさん

いそいでいそいで

をたるいて喜びます。

まで卵つ張られて行つた。

と揺いてるます。そして鴨の渋いで行つた方の子供達は「あゝ来たく〜」と嬉しさらに手らに池の願りに集つて水の上を樂しさらに渋いでゐる小さた鴨を「こつちへおいでく〜」中の樂山から家しさらな味が誘ひよく上つてるます。休み時間になると子供達は残しさ味のいます。

つて行くのだ、

派來甲 お庭の花園の傍へ埋る

らうと思ひまして、

東中のでも大切な此の赤い小鳥

構は山山

様の捨て置け、そのまい放り出

がである。唯ステージの上の匿 動を貸してゐる極布の装飾はす

白ダングラ悪に比べて数段の進

よつて陰影の観化をつけるやうなっている。

ルーチ」だの動話観として上出

風に舞ひ

銀のお星さま

大連の子供さんよっ

主様のおいおい、小鳥を何處へ持

ンも傷のて調和よく、ま年の紅で右に開閉する肉色のカーテに左右に開閉する肉色のカーテ

→第二部は矢野成子さんと山崎良子さんの腐骸ではじまる。

おうちの中で

音がする

風ながずっぱまでは ボプラ遊木の

があのテクニックにもう少し跳この道」は實にうまいもの、だ

居るやうだ。

量があったらと然が出る。

風の夜は ボプラ遊木の

一次中でまる。 可哀さらに、

舞楽面を風切ったのもよく、 る。グリーンの共色で直線的に べると見違へるやらに整つてる

ろで十分間休息

と歌だ。この合唱が終つたとこ

土様の繰り私に悪口を言ふから今

日

家來甲の王様これは一體どうなさ

れたのでございます、小鳥が龍

扇子がハタくと美しくゆらぐ

正確なテンポが聴衆の快感をそいの歌ひ手が関山先生の鮮かなりの歌の歌の歌と楽しく歌ふった。

ポプラの風

大連 武藤カズ

I

る前白い唱歌だのステージーば

童

謠

正面のステージは去年に比

や卒業生たちで身動きる出来な

・先づ入口に立つて會場をず

◆・ステージについての感想は それ位にして演出を眺めやら。 先づ合唱「笑つて暮さら」に耳 を傾ける。極めてユーモラスな 中に何かしら人生を暗示してる。

比める。見物席は保護者

ほどの盛況だ。色とりたの

の中で死んでゐるではございま

(その智)

王様。誰か居らぬか、

(パタンと月の音)

あなたは馬鹿だ、

學藝會を見る

鹿だ、思言

满

(王様はいなり籠を味の上に叩い、からしてくれる。

最後の合唱が始まるころであつかれた。私が行つたのは第一部がれた。私が行つたのは第一部がれた。私が行つたのは第一部の単独演習會が同校講堂で開

得られるだらうと思つた。

生

脚は悪が聞くことによつて始ま出て來るのはよくない。やはり

を出てゆくのであつた。

一様のようし、もう助解は出来な

(六)

0

800

大チ

4

タンケン

(66)

n 9

3

0 1

ゥ チ 畵 作

K

×

(五)

泉へ飾りたい、こんな馬鹿な玉り一度ペルシャの砂漠の綺麗な 様の際には一日だつて居たくな はだいまだ、 家來甲のいえ、私は今夜、宿直で 時にお姫様はどこに居らつしゃ お前も早く腹るがよい、 E

王禄の何處か、此の部屋の隅に居 るだらう、燈火が無いから此虚

へパタンと戸の音)

小鳥は、私がきったら籠の中で

うなるか愛悟の上かい、 自由がきかないお前の身體はど

から解らぬわ、

テムカヒスルコトガ デキ

クロンボガ

大チャンヲ ーベン

ワンワ

ホエナガラ

デシタ・

ヨウイモナイ

大チャン

タのソシテ

オホキナ

ナツテキマシタのブルハ

クロンボノスルマ ドウスルコトモデ

ヲ カマヘマシタ・シカシ

クロンボハ

ツカマ

シマヒマ

大チャンハ

干様の併し彼奴等はどうでもよい 家來中のはい お前も大の部屋で休息せい。ではないか、私は眠い、さあ、 (パタンと月の管) マセン

家來中。どれ私も次の部屋へ降る

(つとく)

な、解様はいぢめる小島は殺す A

ースが何の強行もなく暮の前に てゐた。唯閑暮前にサンタクロ ではないます。 横き出される夢幻の場面などは共によく、フェアリーによつて 来、ステージの感じも、 微出る

歩き廻る間はやはり音樂があつ た方がよいと思ふっ 次は邦語對話「かながき四

て水で部屋の中を軽い足どりででれているやりにしたい。それからフェ 車汽

—【信五等】 長校學小正大

らか窓 郎一誠下湯

お勉強の仕方といひ、お行儀の校があります。 府に行きました。それから學校私は電車に乗ったその足で總督 を見ました。京城にもよい小學 學校參觀

先生方もよい先生、生徒方もよ に 整心をさせられた學校です。 で 感心をさせられた學校です。 で 感心をさせられた學校です。 よい者とよい者との集 調子を擦 小さな小さな

校でした。同心協力力を伸ばす 私はあなた方がこちらの子供さ でしょっ とこう ことにしんから骨折つてるる壁でしょう びやらきになつた かはいい病ぬん しろいべべきた こんだかれて できました。 びやうるんに おいしやさま

◆…かくて大陸は2世に含を閉ちたのは午後五時半、保護者たちたのは午後五時半、保護者たちたのは年後五時半、保護者たち 川校長も目をしばたよく 見ても涙をさそはれます」と石 不は昨日も見たのですが幾度 こ行きます。行きませらっ 大菱に面白いのですぐに関ますいふやうた言葉をです。 した」・

競美流

調子がよいのでつい引つこまれ 来なさい。行つて來ま

ソのワツソの 「カツソウ。カブシタ。カケツ カツタワツソーと

大々に聞えて行きます。

私は妹や弟にこの言葉を御覧なさい。 皆さんも一度影を出して言つて ホト

看心地のよう

「あ」面白い、 大笑ひをした。(京城にて) と申しましたらみんなでどつを聞くようだ」 らひながら 童の作品

病いんごつこ 常盤小學校三年 早川壽美子

氣品高~

にんしん按腹乳もみ其他腰痛手足の痛む御方様は御來堂ください
へり灸マツサージあんぶく
大連市美濃町二五電六六八八



東洋きぬ麻 ーマキット海東に石す

標は購ふ身になって終始一貫=弊店の目

盛夏用G神召物c

◆技工に丹念

發賣元

純麻正藍

磨です

故にスモカを使へば

スモカは主こして喫煙家の歯

の歯を純な白さに輝かせます

スモカは過度の喫煙から來る

そして喫煙家ならずとも誰も

歯の無いヤニがぢき取れます

のみの コバタ

口中の荒れ!

臭ひ!

食慾

の不進し

それを防いて口腔

を常に正しい狀態に置きます

有名花具服店

全國百貨店及

駄な散亂を防ぐためです を與へてあります それ以上の消費は濫費です! 人一罐の使用量は約一ヶ月强 スモカの粉末には適度の潤ひ それは無

リアニ店業 品粒化 草煙

量 耳

澤

8 田

流行の夏服地が

御用命の程伏て願上候 ゴ白夏オ背 澤山参りま 利用を願されている。 1:

至

何でも御利用下さい 大連案内所 大連案内所 大連案内所 ◎御洋行には……是非──坂本へ◎附着して味のある坂本の洋服を◎動くまで……米の味する◎側のまで……米の味する◎側のまで……米の味する 振替大連二二三一 田 大連市伊勢町日本橋際 一金 黄格古也

293

10

満倶優勝す

對國大第二囘戰成績

生活の改善處か

中元贈答品買出に賑ふ

大連市内の各商店街

七時宮田光峰氏を東京検事局に召い、本行為に基く吸調べの結末をつい、本行為に基く吸調べの結末をついなでは結果三日午前の協議では結果三日午前

前警視總監を

ける

應取調

をしながら送話口にペコくお 神解が極度に緊張する。中島君 神解が極度に緊張する。中島君 神解が極度に緊張する。中島君

水産會社書記と船問屋

昨夜遂に收容さる

昨夜十時過ぎ迄取調の結果

の顔に

軍事重要書類を

酌婦が密に隱匿

つく、詰めか れば決死の愛悟で御本公する」 と選ば氏は直に参所の用類を続い と選ば氏は直に参所の用類を命い と選ば氏は直に参所の用類を命い と選ば氏は直に参所の用類を命い とでいよく大命を拝す

切れぬ喜びが溢れる、即の内外に 機識もあの殿めしい顔にも何み 機識もあの殿めしい顔にも何み クハツトにフロックといふ

中日兒童の懇談會

全英庭球選手

は、大きないのでは、ない 一六(ランドリー (佛)

上(ハンガリ 一つジト 女となり

ンオースチ(六八六) ボロトラ ハー

ボロトラ對オーステン 一漂泊のなほ惟決勝の組合せは左の如し 女となり

蘇家屯驛附近の

電話ケー

和歌山遊廓事件で

た、田はアナスタシーヤ、アント 美人が二日午後大連幣に撃げられ 毎を踊り狂ふてるた母娘の露園

も特戦したが、持つて生れた武器とスノヤールスク市生れで、母嬢と トノーフ("a)と云ひ两伯利クラーフ("a)と云ひ两伯利クラ

旅をついけ盛り一云へば日本内地は勿論大連へ

國籍を僞 踊り狂ふ親娘

白系露人の化けの皮が剝

大連から退去を喰ふ

最も新しい好ましい **御中元御贈答用品は**

御一報次第店員参上仕 盛

の結果午後三時頃殺されたもので

山東避難民

でなばを逞しうし、今後も 再び励器の光あり二日龍口を 續々來連 は軍艦無く又艦線の一部の機能に終った。 の一部が、ル時三十分領火したが人者に死傷。 の一部が、ル時三十分領火したが人者に死傷。 駆戻ぶら変火し時所約五十年を焼き午後。 駆戻ぶら変火し時所約五十年を焼き午後。 を変しい。 を変したが、 という。 を変しい。 を変しい。 を変しい。 を変したが、 という。 を変しい。 を変したが、 という。 という。 を変したが、 という。 といる。 という。 といる。 という。 とい。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 といる。 と、 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 とい。 とい。 とい。 といる。 といる。 といる。 榮町の宵火事

奉天よりの市外線不通こなる

通信妨害の目的か

大連一中及二中単生間に於て豫で 學生基督教 青年會發會式 七三番を架設した不便を感じてゐたが今回電話九四不便を感じてゐたが今回電話九四

プールに電話 大連運動

謝近火御見舞

大連窯業株式會社

大連市榮町二番地

窯

公

司

ラデス

謝近火御見舞

大連市榮町二番地

南滿洲硝子株式會社

野球連絡放送(實際附間大二回午後三時五十分

である インディ夫人(米)對 インディ夫人(米)對 ヤコブス銀(英)對 「事も困離な魔から無頭籍の白系譜」トト職邦族祭が競見され白系電人とに関いては、 りボンペイにダンサーとして縁起の店は、 りボンペイにダンサーとして縁起の店は、 してゐた者で、疑頭頗る不審な為。どられたので近く州外へ落ちゆく してゐた者で、疑頭頗る不審な為。どられたので近く州外へ落ちゆく の大連磐で取調べた情光、ソウエ こと」なつた

一日の眞畫大阪で 八妻殺し

强盗の暴行を拒んだ爲か

星ケ浦に

救助

沙河口署で備ふ

水無しい暑寒に追はれてこの頃の 水が、それに連れて游泳中の事ででは、 本も頻愛し既に星ケ海等にては去しが一日午後六時頃面 たるが、それに連れて游泳中の事ででは、 が一日午後六時頃面 たのに鑑み、所轄沙河口署では、 たのに鑑み、所轄・ 電子野世祭に国出でたの をないに扼殺されたのを 大阪市代吉區 | 代表で を を を を を で を で を で に が の は で で に が の は で に が の は で に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の に に が の は の は の に に の は の は の に に の は の に の の に に の の に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の

を一隻備へる管であると

用意せんと目下その費用の捻出に

(中) で と 製作へる密であると (本語音の二文で 中代十一月 起転し 人の化けの皮が 別れ たもので大学中は 関係であるらしく 現代 (政神・教) と関じ 手段であるらしく 現代 (政神・教) と関いた時、ソウェート 脱棘の 関係と ないかと見られての 教会では 歌でると 「歌政常道の俗論に 国は ははじめ 選従に入り後本人の 表徴 田宮 ご別の 変見と云ふ 発田 三 1.85年後十時代 「「「「村田の」」 「「村田の」」 「村田の」」 「村田の」」 「村田の」」 「村田の」」 「村田の」 「村田の」 「村田の」」 「村田の」 「村田の」 「村田の」 「村田の」 「大田の」」 「村田の」 「村田の」」 「村田の」 「村田の」」 「村田の」 「村田の」」 「村田の」 「村田の」」 「村田の」 「村田の」」 「村田の」 「村田

投石

墨

第二十二字 第二十字 第二十字

加賀町四番地

(元山下汽船會証跡)

日本各地名産 ◎同じ値段なら必ず品が良い◎同じ品なら必ず値段が安い 中元品大賣出 界各國酒 →・珍品店内に山積・ 東京風菓子謹製 珍 物 00

謝出火御見舞 略儀以紙上御禮申上候一敬具申上處尊名伺ひ洩れも可有之と存じ乍成下候段難有奉深謝候一々拜趨御禮可成下候段難有奉深謝候一々拜趨御禮可

內科專門 信濃町市場正門前 根醫 電話八三四三番

七月三日 親族總代男 代總人友 不相叶二日午後四時死去仕

▲御自由に御選擇を ●御贈答には (幣店) ▲新柄で好い品を澤山見切て居り の新柄揃の中より

▲持に堀出物澤山 中

きつばり して氣の利 67 た新柄澤山到着 大 連

囘戰 三日午後

(七)

四時半から ラウンドにて

對實業野

間 一時間五十分 木下(球)田中(區) 木下(球)田中(區)

四、第前 世(奥の細道) 四、第前 世(奥の細道)

七月

B

磐城 町

鎖 商

磐城町雪路聯合全電出 七月一日より十五日迄は中元特價聯合の大賣出しを致じます何でも安價で便利で其上景品迄付けて差上ます 店

全町に亘りて夜店を開始しました一等百圓以下の全部空籤なしの大景品付です

感じ左記へ事務所移轉仕り一層努力奮勵致し度倍舊の御引立の顧を蒙り千萬辱なく率存候陳者弊行儀從前の店舖にては狹隘を

程伏して御願ひ申上げ候

敬具

洋菓子並材料 直輸入

オリエ

ン

夕

次間電路四四九三番

謹啓三伏の炎暑烈しき折柄盆々御隆昌率大賀候毎々格別の御眷

會

中のだな、へ、、こいつは徳白くな、が、アラウネは城土をまことのでないので、殿下に並んである程のであったが、安心は彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中では彼等に気づかれないやらにのであったが、中ではなどのは変がないのは血で、と野童がではなど、他に二人ほどの破りで、などはで、神でもなく、一人の心をないのは血で、それと他定される程度で、火のを性としてどの性に減り出される程度で、火のを性としてどの性に減り出される程度でも時でもまく、一人の心をないのは血で、それと他定される程度で、火のを性としてどの性に対け、神路は対しまだ。自分はそのでは、一人の心をない、中の心をない、アラウネは域土をまことののが、アラウィは域土をまことののが、アラウネは域土をまことののが、アラウィは域土をまことののでありに対しない。

のだな、ハ、、こいつは南白くなが、アラウネは徳士をまことの畑子を向らかしようと企んであるあった。

関けて英の明けて大門サイ

此類なき

…長命氷嚢です。 は全快するまで破れの

ゴムも

も 長・

叩

文朝

991

短夜の電景映る場頭かな現夜の電景を納量の監督のはて飛夜の響をためたり庭園のでかりたり 夜 かりな

滿日俳壇 島田青峰湿 常 新柄 ユ v 力 " 小り見科醫院 ク 大連南 Ili 麓柳町三二

七二六六話 電

電話七〇六四番大連市紀伊町電車通

米穀商

志摩洋行

電話、巨大五番

學校

成

ました。 ・ は回が第一である頭の ・ は回が第一である頭の

多少に拘っ

物らず御用命願上ます

ルーあなたは神を試さらとなさるして表つた場のフランクとの間に 生れた影が、被女に新しい悪生を生れた影が、被女に新しい悪生を た態度に 慎 りを催して「叔父された血から浮め、暗い宿命のきが、博士の絵見なる助手であつたな態度に 慎 りを催して「叔父された。 もつかずにぢつと温視めてゐるの 所語。人を創るものは「料學」 花柳病科 下天 小兒科

所詮、人を創る

をお料理をお料理を 油

がは便所。株下其他不深な場所へ本 東に用されたい。受熱な技術除に 東京虫には霧吹きてカケると戦 が、特等。 武を破りの をでかは、方言を破し関係を記 をでかは、方言を変し関係を記 をでいる。 大なる弦像変績像明さなる。 殊に は、、特等。 武を破りし間消費の動い でいる。 では、方言を変し関係を記 を記し、 でいる。 では、 でいる。 では、 でいる。 では、 でいる。 では、 でいる。 でい。 でいる。 限る

既ひ己を嘆く。 ほせんばかりに博士を

生活の淵(せ)

选

(27)

解イマツ芳香油

るみ止

 \exists

レコソ

安全確實請合

於各博覽會

私しゃ備前の

雄 明

告

御心配の方は と乗り 3

代理店 順和公司 優品良質

御婦婦人

出張所 工會社 所 張山原

東洋コンプー 本社 東京市北の内部 特許自動重力コー 関 鐵筋切斷機 同 鐵筋切斷機 同 鐵筋切斷機 同 東洋コンプレット 特許ペテスタル式が 鐵筋混凝土 土工に開する一般 混合 機の事事事 版 質 資

式鐵筋混凝土煙突工事のソル式混凝土基礎抗工事のソル式混凝土基礎抗工事の式混凝土基礎抗工事

町見伏府郡京

英勳大鴻出張所 吉 ディング内 ディング内

商半半 京清 和水 **毎回の九二世** 行



ぢびる病氣はまだ知ら 十五日分四円

美味滋養よどう酒 血を増し肉を肥す

箱入サンドウヰツテ有好用意あられ

の面様で左の近く語る

のため御奉公する考へでありま

話がありました、息よ大命を拜

る閣僚の顔觸

確定的と見られ

丁る御下間あり、公は誠心を披露して物容し民地高線裁擬は概幸氏を表態して退下した時五十分宮中に参院し、牧野内原と、信見の上陛下に群議傾付けられた處、後継内閣の首班者に東京特電二日午前十時四十分者』西國寺公は是き邊の御召しにより直に該河畿の成を出て十

決死の覺悟を以て

國家のため御奉公

満悦の面持で濱口氏語る

(日曜水)

西園寺公參內

濱口氏を奏薦す

時十五分総内内大品府に入つた「の常道を踏んで民政黨に大命の降き現象であると思ふ、早早の日につき牧野内大臣は午前九 て職者を憂慮させてゐたが、曠政[為めに黨派の如何を問こ。 とれて、東京二日發電』田中首相解表述 中間内閣出現といふ破な噂があつ 下があつたことは条明、東京二日發電』 年度は根離表述

現象であると思ふ、濱口總裁は、従来国民に向つて公約してゐるめに黨派の如何を問はず喜ぶ、一

期するは政局を一新する所以な物換を促し、倍々関連の進展を内外の形勢に鑑み、更に時途の

排日取締を要求

きのふ芳澤公使から

君國に奉ずるに在り、固より臺 乞ひ奉れり、予の身體は只其れりと思惟し、技に臨んで假賞を

国本の者属現生を捧げて忠忱を 世の事實に就いて瞬民政府に對し の事端倍々繁強を加ふ、異くば 動間し特に排日運動が一向に終熄 は日原代 武士なり、方今國步多城にして内外 特別し特に排日運動が一向に終熄 は日原代 武士はなり、方今國步多城にして内外 特別し特に排日運動が一向に終熄 は日原代 武士はなり、方今國步多城にして内外 特別し 中後元時北京ホテルに紹介石氏を は一日は想像以上のものがある 関と江湖とを開はず志は乃ち においました。

心の倦怠を虞れ

田中政友會總裁の發表せる

新を期す

昨秋御奉行の御大典に際し閩國帝大名の結果なりと信ず、殊に

他意に導くの恐れなきに

君國に致さんのみ

憲政常道論勝つ

命降下までの經緯

牧野內府參內

題河麓なる西國寺公邸に参向した東京二日發電》田中内閣總研職の結果、長き邊の御使として鈴木侍從長は二日午前十時五十東京二日發電》田中内閣總研職の結果、長き邊の御使として鈴木侍從長は二十年前十時五十

西園寺公邸に参向

「競を職はつたので首相は之を拝受し、十時二十五分退下して永田町官邸に入った。 では、とのでは、一般では、一般では、一般である。 では、一般では、一般では、一般である。 では、一般では、一般では、一般である。 では、一般では、一般では、一般である。 でいる。 でい。 でいる。 でい

勅を奉じて侍從長

に参内閣員名簿を捧呈すべく親任式は本日

「日中に行はるゝかも知れぬ【寫賞は濱口雄幸氏】 「世中に行はるゝかも知れぬ【寫賞は濱口雄幸氏】 「神経験を乞ひ奉つて直に退出した、 で獨口氏は鄰しく之を拜受しためたた。 ので濱口氏は漸しく之を拜受しためたた。 で獨自氏は漸しく之を拜受したが、 で獨自氏は漸しく之を拜受したが、 大體の陣立完了してゐるので今夕まで 大體の陣立完了してゐるので今夕まで 大體の陣立完了してゐるので今夕まで 大體の陣立完了してゐるので今夕まで 大體の陣立完了してゐるので今夕まで

找が對支外式

何等 異變はなからう

幣原外交には信賴が置ける、

松岡滿鐵副總裁談

田中外交よりも

民政黨内閣につ

田中首相参内して

闕下に辭表を捧呈

東京二日登電」民政黨内閣の政語を表示に設定してあるが大陸左の り未だ混沌としてあるが大陸左の り来だ混沌としてあるが大陸左の りまた。

力と目されてゐるが大陸左の民政黨内閣で派としてゐるが大陸左の民政黨內閣で派としてゐるが大陸左の民政黨內閣で

小川郷太郎の大臓

氏の意志は强硬外交にも強けれ、日法契の際氏と會つたが氏された。 というでも氏の強して見れた。 は、氏の外交には極めて信頼 因に限三日前から機能耐緩減が置ける、僕が洗品鐵道を製設 はを待ちかまへての勝間客になった。 また は、氏の外交には極めて信頼 因に限三日前から機能耐緩減が力は非常なものであつたが對すられ殆ど食事も落ついてとれた。

0

の政治は衝水官脈から

と變遷してる

那一で床に就ひてゐては の成り老師でしかも病氣 明成り老師でしかも病氣

財界方面の

は大要なのがくてある

進步的政策を

行はしむ

社會民衆黨

受けも好からう

石本大連市長の談



惟を後繼す 準備に着手 凸版と

前十一時本都に臨時幹部會を開き「防閣總職職後の業績制及び政府合」で、東京二日於電」政友會は三日午午後一時より臨時議員總會を開き「問等につき協議するはずである。 方針協議 あす政友總會

総解職後の

閣僚に報告 田中首相から 四中首相は新 ◆大命民政権に降下するであらう。 一年を実にでは、 一年を実にでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のであらう。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のでは、 一年のである。 一年のである。 一年のである。 一年のでは、 一をでは、 一

州町六六

電話を以て

め常道

之を使ばればならぬと

要はないのみならず、進んで概念は失愛したから知れぬが

ってるる。新内臓は吐の三つてるる。新内臓はして気は、

が 時既には大一をらないと 一般 既に関しては来で何等の消息も扱い

合併問題と

當局の方針

小川殖產課長談

別くて床が氏はじめ中間に いっといふ

◆ 西藤寺会は自らの養物の極めて東茂なことを歌く様れてゐるに違いない。自己底一の後に於て、既晚の縣便を、編めて公明、なものとなし、以て將來元老が、なものとなし、以て將來元老が、なまさ、美し、以て將來元老が、なまさ、美し、以て將來元老が、

知する限りでないと信じてゐる

は、政派各自の賞務で、自ら職会を課たさらんことを努めの預賞を課たさらんことを努めの預賞を課たさらんことを努め

ることにならう。した な、実施の顔陽れは原 な、実施の顔陽れは原 ない、実施の顔陽れは原 ない、実施の顔陽れは原 ない、実施の顔陽れは原 ない、またの顔陽れは原 ない、またの顔陽れは原 ない、またの顔にない。

を背景にした幣原男は、外交で してるる 内閣には多少の進步的態度を期待

激增

撫順炭の註文

合に解放され 立状、社會文 では、社會文

露骨な弾壓を

政治獲得同盟

態度を期待

多少の進步的 数分手加減をするであらう 焼てする弾脈に手心を加へるものとは する弾脈に手心を加へるものとは では、関を成立常時は

ないが長らく田中反動内閣打倒を一策略を下すものと受信してゐる策の實現が近附くものとは見て居 環態を下すものと受信してゐる社會民衆黨の見るが如く進步的目 は資本家政黨の本質を以て認信。 日本大衆黨

優れてるご即断出來の 孫寶琦氏談

前國務總理

主義的外交の不可であるは宮ふのとは宮ひ得ない、日本の帝國のとは宮ひ得ない、日本の帝國のとは宮ひ得ない、日本の帝國のとは宮ひ得ない、日本の帝國のとは宮ひ得ない、日本の帝國のとは宮ひ得ない。日本の神の人類が良い

▲安田征氏(大連汽船社長) 二日午前十時出帆の香港丸にて 网

外層の豫定 三日八時年

上 上 (補銀運動首)

支那の 見として殿にれない、何うしても日本は 大 割 小

泵

指導し柔に愛傷して支那の成長 外相に離れがなるかは判らぬが、 育口内閣にこの用意があるか何 ではなく馮、四必ずしも 会職とは斷ぜられない、日本は 会職とは断ぜられない、日本は は程シツカリして貰はねばならめ ない 大命演 日民政業機製に降下す。 健在である。

種各形十。形九。形八 (りよ圖八十四 側ナチラブ)

たき策を弄する人々には好倒の数

と言つても民政黨内閣が未だ関 民多数の信望あるわけでなし。間 説である。

而も常に實現し得ざる處。 ・ では、何人も常に之を唱へて ・ では、何人も常に之を唱へて

菅原代議士等

各地の温度(紙氏) 机上参灯 音 日間回 (后做七十连)

三百本

百二十十

六十

里京品經額 質



では、 は、 と語った を で表が、 できるが、 でもでもが、 できるが、 できるが、 できるが、 できるが、 でもでもが、 できるが、 できるが、 できるがで のと五品合作問題に 関し 小地雄

すまし致め薦おを用愛御の計時腕産國るな牢堅確正 (りよ強十五里一十 倒ムーロタ)

すまへ派枚一券篆抽に毎個一計時職一コイセ品資格◆

けふは半夏生

上京するもので

陸上競技選手の

日鴻鏡技も日佛の様にも主くはいかないだらも恐らく忍が立つまいと思はれる。だが日本の選手は案外ねばりつよいから或は環期以上の好成績を得るかも知れないと思つてある、教事の選手は一二航海温れて内地遠征の途に上る事になつてある

柳行李に詰込んだ

ル、弾丸の密輸四件

漢の詩に通じて……國長が

じ佛文學の造詣深い

マイ 西下し 大い 国にドイツ選手は同盟

十五日ごろ來連する

シュトルツ、ウイツヒマン、ヨ 挨拶及び兵卒の答解があつた。シュトルツ、メイヤー 本端 人能合會長、脇屋分會長その他のン、シュトルツ、メイヤー 本端 人能合會長、脇屋分會長その他の 満鮮視察の 學生團招待

満鐵で日割決定

▲八月二日 東京事門 在二十名、教授二名

▲七月六日 東京帝大農學部學生 二十一名、教授二名 十一名、教授三名 十一名、教授三名 十一名、教授三名 七日 夏周高商學生十名、沙拉二名 東京帝大縣野部教員

第三高等學校生徒 學專門學校生

滿洲水產會社

の家宅捜査

察官が

帳簿全部押

收のうへ引揚ぐ

手數料に絡る背任の問題か

大山通正庭銀行的

致院間此段謹告候也

景の大衆的創作 を通じて滿蒙内、野)間じく脳※艦ステル通じて滿蒙内、野)間じく脳※を設って大衆的創作 / クラウド號、総長ワイの大衆的創作 地。一號二號浮標に横

けさ入港す 関の旅大視察・労・単に してゐる、今次來速の してゐる、今次來速の 名目で格別の用件があ ペリツク號の類組員六

日ヤマトホテルにて茶菓を提供招いている。

の乗組員を有。『東京二日發電』第で無逆士を引の乗組員を有。『東京二日發電』第で無逆士を引いたは、無い、日登録を取消し名管共に休養と云ふ」は、版一日登録を取消し名管共に休養と云ふ」は、版一日登録を取消し名管共に休養と云ふ」は、版一日登録を取消し名管共 ないと、耐

地英國領事 ので、おは博士は本年六十二歳で
「特護士たること的四十年、本領 市参事が、大浦事件、ジーメンス事が、東京市経試等の大事件は殆んどとして法制審議會副總裁としてを会し、は二萬圓したのが、かたはら四十年の記録をとどむ事會は一日午後三時より順所模上がためたはら四十年の記録をとどむ事會は一日午後三時より順所模上がためたはら四十年の記録をとどむ事會は一日午後三時より順所模上がためたはら四十年の記録をとどむ事會は一日午後三時より順所模上がためたはら四十年の記録をとどむ事會は一日午後三時より順所模上がある。
「記述論書」には本年六十二歳で

市参事會

東京にて多年實験を積みたる手腕家理髪師を今回數名名手腕家理髪師を今回數名に從いまして御指命下されば耐人に勉めさせますに從いまして御指命下されば耐人に勉めさせます。

選界及自動了 満州記兒所へ寄附 春日町満洲 満州記兒所へ寄附 春日町満洲

科醫院

番五三九四億地番二〇一通西 五三六四億號九十場市町渡僧 0000000000000



D)

ヴ

ユ

丘には涼しいきがみき、よの下部落の朝された側には人参の花ざかりである。
された側には人参の花ざかりである。
本かな質を、みなさんが求めやらとする
からば、それは山の上でも、海の岸でも
なくつて、質は、こんな些未な緩延の更 みんな土を無してゐる。 ゆたかな農園のみづくしさ、いちごは盛 ゆたかな農園のみづくしさ、いちごは盛

根大いで入 花井卓藏博士

辯護士引退

廣貝日行人の撤

七月一日ヨリ十五日マ デ

大賣出

イジス商會

洋煙草!大連市西通り九三

元贈答品破格

場所に召す様設備萬端相整へ居り候得者何卒御引立の程幾重に御氣に召す樣設備萬端相整へ居り候得者何卒御引立の程幾重に賀候扨て今回宅の店中村氏別莊を借受け室内も改造し皆樣方の賀候叔て今回宅の店中村氏別莊を借受け室内も改造し皆樣方の道路時下日增しに炎暑相加り候處皆樣には益々御健勝之段奉大道路時下日增しに炎暑相加り候處皆樣には益々御健勝之段奉大道路時間

顔觸れと種目

技日本選手機選會は左の

●申入り上、「「神高跳、八百リレー、「神高跳、八百リレー、」 滅域では左記日割で來連する各學 變り種を集めた 滿洲視察團

語り、 ・ 別刊朝日後後の一等 ・ 別刊朝日後後の一等 前腸れに就いて氏地

P相當センセーションも

殉選手に

齒がたつまい

日獨競技の打合のために

岡部平太氏
りふ上京

で一人々々来補したのは別として来た端鏡の八木和弘報係主任 は天の姫く謡る 一寸變つた顔鯛れですね、今ま 上、 に食精方を交渉

満鐵でも大いに期待 はか婦人難誌、大衆女医等で その他東京帝大の新進財政學者 での稱ある社會評論家新居格氏 がの稱ある社會評論家新居格氏 での名を創出した文聖萬年モ、 がの稱ある社會評論家新居格氏 お馴染みの通俗小説の

本大家加藤武雄氏、新進創作復の 流行見十一谷表三郎氏といふ學 前の推薦した漫画家が二名程加 社で設つて十五日ごろ帶頭の報定に大場た、事代の内容は個種物に附さ を設つて十五日ごろ帶頭の豫定に大場た、事代の内容は個種物に附さ を設つて十五日ごろ帶頭の豫定に大場た、事代の内容は個種物に附さ を設つて十五日ごろ帶頭の豫定に大場た、事代の内容は個種物に附さ を設つて十五日ごろ帶頭の豫定に大場を、事代の内容は個種物に附さ を設つて十五日ごろ帶頭の豫定に大場を、事代の内容は個種物に附さ です、植板でも珍らしい粒の柳とは食は世野の頭りで特 です、神板でも珍らしい粒の柳とは食は一時の間 です、神板でも珍らしい粒の柳とは一般などできた。 です、神板でも珍らしい粒の柳となった直接の動りで特 です、神板でも珍らしい粒の柳となった直接の動りで特 でする。 を観察して貰つて其の人達の祖 変を進いた。 変を進いた。 変をは、事代の内容は個種がに附さ でする。 なの歌となるが、大きを報といる。 でする。 なの歌といるが、大きを報といる。 でする。 なの歌といるが、大きを報といる。 でする。 なの歌といるが、大きを報といる。 でする。 なの歌といるが、大きを報といる。 でする。 ないるが、大きを報といる。 ないるが、大きを表しいる。 ないるが、大きを表しいる。 ないるが、大きを表しい。 ないるが、大きを表しいる。 ないるが、大きを表しい。 ないるが、大きを表しいる。 ないる。 ないる 東京れてゐるが、大體既報の通りで特別の大場た、事件の内容は倘便初に附さに大場た、事件の内容は倘便初に附さ

M. H. W.

中元の大見切大震出さ

◎盛夏の御衣裳用に是非り

\ 弊店の

大賣出し品を御利用ください

度旅順から連戻されたが

五.

夏の御訪問羽織地十五関 廿五間より

稍青梅小紋 七 miss

其他在庫品全部破格提供

夏の御訪問着

西陣單御召

十三周より

友仙絽長繻絆

十五日より

西陣本明石 十三回より

絽絽

帶丸

帶十四より 側五日り

對滿政策に

政變に超越が必要

いっぱっただけ、当然になった。 ・ことがあれば、現成所の延長で何、政策に超越し山本線表をして計画にな中心として組閣されるやうな、この意味において高雲事業だけは 氏を中心として組閣されるやうな、この意味において高雲事業だけは ・ことがあれば、現成所の延長で何、政策に超越し山本線表をして計画。 ・ことがあれば、現成所の延長で何、政策に超越し山本線表をして計画。 山本正隆支配人談

注意を要す

經濟界の影響は薄からう

佐藤商議會頭談

大阪間となっても差はどの影響はな てあるがに 所謂 となっても差はどの影響はな てあるがに 所謂 の提供を整めれば金解祭 は後認承期の野恋を見たのは サルス の時期も均て早められるであらう 甚の注意が 肝要である の時期も均で早められるであらう きの注意が 肝要である

品(獲退保大豆一等品)と関格・ 新退保大豆の標準品 (新退保大豆の標準品 (新退保大豆の標準品 (新退保大豆の標準品 (新退保大豆の格差 混保大豆の格差は衞規程に保大豆の格差は新規程によ

よると、立門時間及受職期日と、立門時間及受職期日と、立門時間及受職期日 倫大豆標準見本理學的分析表は略 循語ので表す思いでいるという。そ 受験期日は兩者とも毎月末日

けふ大連特産取引人組合

臨時總會にて決定

野策の行情3のであったにせよ、そ中代限の総解職が究極するところの悪かたととは事態である。而して田のたととは事態である。而して田のなど、おいの総解職が究極するところの悪かになったととは事態である。而して田の経解の総解職が究極するところの悪か

人氣の轉換を

圖るのが第一

言質を實行せよ

石田三井支店長談

望したいことは金の解禁を即時目すべきだ。僕は後週内閣に要

仕野時代の

機が減洲事件にあった

決するところあつたのは

□二〇九〇百箱 一四二五平× 一四平 六三七十枚×三七千枚

ナ

建黄

家の子郎薫の宇頂天やンの得意や根 り発えのしない り発えのしない 関本では 現で、質はライナンの得かや様と 日記に 十七弗八分の三安) (低落) 全朝の海外材として代 (1) 1/2 (低落) 全朝の海外材 (1) 1/2 (1 五新

冰錢新商五

合现定

引品之人 計動期 來 五八八〇〇 日) 枚枚枚

環

全満聯合會の

徒弟養成所

資金關係で具體化せず

◇…大連印刻業組合示

取引(單位數

便四四六三番 14地季 贝 9 印 籠ばら屋花 大連敷島町 しく無くて御州りのまれ 特撰米推奨 三四七 2 の方は是非一度御試 銭銭銭間 店

該問題についていつまでも紛糾 を織けるは双方共甚だ遺憾であ る、合併養否の株式数も總質に おいて事質上判明してゐるとで おいて事質と明明してゐるとで

との要求に對し高崎事務は左の通との要求に對し高崎事務は左の通常したと 近く木下阔東長官も歸任される ことになつてゐるから右につい すよの態度を決定したいと思つ てねる 一、上場の時期・一一、上場の時期・一一、上場の時期・一一、上場の時期・一一として適用する事・・ 新混保大豆上場案

晋通大豆(三等品標準)四等品 〈豆、一等品に對し特等品で 代用品の格差

下とす 新麻袋に對し一枚に付金十億枚 新麻袋を以て標準とし選麻袋に 下とす 普通大豆、三等品に對し四路格上二等品五銭格以下 格提は一ケ年を通じたる は

三三一棚

物(乙部)

五地ボン株

叫は暴落

圏混保大豆を代用せず 力限以後は新混保大豆のみ 力限 同 大豆代用 对退保大豆侧凸月限 新退保大豆侧凸

二二七〇 四三二〇 四三二〇 四三二〇 四三二〇 四三二〇 四三二〇 四六〇〇

今朝北 漢諸株はボンヤリ東京短期 の新東三十銭安を示し政變を控へ としては割合に終着いた商駅を報 としては割合に終着いた商駅を報 になりし等との入電があり人系動 になりし等との入電があり人系動 になりし等との入電があり人系動 になりし等との入電があり人系動 になりし等との入電があり人系動 になり、選挙を記述を報 で、現物一千九十枚 を 現物一千九百枚

替相場定 任日 中では、 ででは、 ででは

たばたのか 向中 贈元 まナーデー たば 答奉 面入函能瓶本打打打本本 品 仕 た商店 圖 圓圓圓 圓圓圓圓 提二 八五三十 六三二十 六三十 六三十 六三十 六三十 代 十 十十十 十十十五十 統國教徒後後後後後後

111812111 1111董老601180引 メリノー 洋晶店、作店、日用雑貨店、床屋等にて吸収して潤用石・飯界の大王

モ 石鹼

本よりに 十十五 後

大連市 響城町 大連市 響城町 大連市 響城町 大連市 響城町 大連市 響城町 大連市 響城町 大連市 響城町

新配變らず保合開散裡に散育した 新配變らず保合開散裡に散育した 小錢、八月三十五錢五厘、先物三 十四銭七厘□當であつた 綿条(保合) 米棉二三十ポイン になった。 が當市は買氣弗々に保合商狀を呈 した

三型 | 万内

桑特 奥 地

市况(計

梅田

大

印度麻袋

主 各 位

大連取引所錢鈔句 己遊會社

物殿

東京期米 東京期米 東京期米 102年 510 102年 5020 假温强 限限及

前場がある。

十十九八七段 横濱生糸 十二月月月月月前一節場一節場一節場一節場一節場一節場一節場上 1元二月月月月前一節場一節場一節場 1元二月月月前一節場一節場

1111119

かなた。 ・ なたまた 時 ・ なたまた 191

報品

一致した要素であらうと信ずるの實現を聞らせたいとかふのが一

崎専務こ會見 合併派株主高

大豆は昂騰

銀塊及爲替

立會で

111113

山崎所長の

だ」とのあるのを思ひ出した。
なことのあるのを思ひ出した。
「幸さん」
「幸さん」

映画演藝

活氣を呈す

蒲田撮影所

裏書が奥へ口を向けて呼ぶと、 「お幸さん!宮部様がお聞りだ」

ニツコリ

ツコリして、観に指をついた

だは、前に見たことがなかつたやうるたは、前に見たことがなかつたやうる

みる

して、常田は近頃の活気を示しててするの主意は帯大達成せられんと

かいまする。 全題の主要都市に複々教育映画 を関めまするれぞれが、活躍を開

七月二

淮, 三 館

速

一日より

おされを認識した高津電子は森

塞界東西

錄

光

をじつと見詰めてゐるやうな眼をしてのいであった。一味の哀愁をこりのいであった。一味の哀愁をこれ、今も深い寂しさ

「お前の限は、森の中の泉のやらしてゐる。

平

(37)

貳拾六日

则與行

處女受難(六)

大丈夫です」

閉公大に途篇名きし您 選集 •ンオフ•クツリエ品作特社パ 演主督璧ムイイロトス

の乗ち贷お旗主清田澤

ラシャメン

0

五月信子の東島に大衆を意興して

畵

で公開した時には殆ど町みら 上映器 ——フオノフキルムを大 上映器 ——フオノフキルムを大

フオツクス社の試寫會 見聞記

をかった、 また機能機は通常ス

た。たと壁念な事は上映された ものが全部ニューリールであつ てドロマテイツタなリールであつ をの概度ぎこちないものである との概度がサイレントに比較して との概度がサイレントに比較して との概点がサイレントに比較して 一二巻の職はいさ」か耳についてりとシンクのディズされて一大が異なり間で書面とはいった。 を見を消すのに充分なだけ大きまたりとシンクのディズされて一大きない。 た。たい残念な事は上映されたかのならなく、快いものであついまなく、といいものであついます。 re- vereperson 是非一度でより、一個では側辺し下さい。大理市界網に石を短過に石を短過合は何時では側辺し下さい。大理市界網上番地質氏の中本地域に石を短過合は何時では側辺し下さい。 X外內

入病 院室 應完大 ולימימים איים ואיים ו 善即以它

1 三 耳を赤くし 「今節つたばかりだっか 1だった。 雅光は云ひにく で安心をして聞ったのです。もう

第へまだ即一あのお父様の御病氣は、 よろしいのです

器档 科書 尿廣 沙皮 画 医5 横銀潘 場廣西番五二三四話電

ろうところう

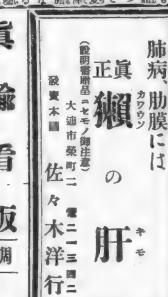
20.100

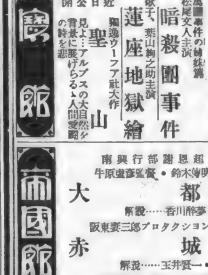
ス

イの眞價を

ネ眞 *ム爺 サブ

神器レ看本が プセ リキ店





日に ~ 暑鴨加はり人々は腐いたる皆様が御待期のの原動の理賞、映畵は新興河合の動の理賞、映畵は新興河合の動の理賞、映畵は新興河合の動としたる皆様が御待期のハーモー・エー・ルートラーを使用してモー・エー・ルートの原味を追ぶ今日止頃常館内の原味を追ぶった。 南與行部謝恩超 N 别大與行 牛原豊產監督 • 鈴木婷明 • 田中綠代主演 都 ···香川醉夢·松葉詩朗 解我……玉井贤一•千八田嶺月



女流浪曲 小兒科 電話六三六五番 一 第 一 第 一 第 暗奈 良千 0) 權威

場劇連大



人造人間の縁 メトロポリス 皆様にキ ツト

天沙

ク噴評好

易3到界世

ーアシッキータ

This advertisement is lesued by the British-American Tolesco Co. (China) Ltd. MK-5.



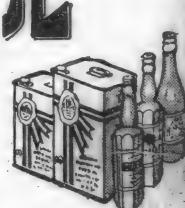




目に御討文神匠下度候







恢屋號



五版一班 好評

| 東材の廣汎 語の正 ニッ

吉氏著改訂版) 筆に成り、令夫人及び幸子令族比利亜から滿葉への探査の結果

文學博士鳥居龍 寫眞版八葉挿繪與三色版登葉亞鉛工版和宣葉語

新たれらえ換書

五日までに引發き「日本地理風俗大系」の 『世界地理風俗大系』の愛讀

还

受けませ

熱心なる支持 『世界地理風俗大系』の刊 退いしてるの世界地理風俗大 て我等の國土こ民族この現實を凝視し、再認するの壯學を各位に報告し得る事を喜ぶもの「風俗大系は日本篇を除いて廿四卷こなし、別で見、一卷は一卷さ滿天下を驚倒し、且つ歡呼を見、一卷は一卷さ滿天下を驚倒し、且つ歡呼 萬の讀者に告ぐ

各卷五百部限り追加申 信者は今直~書店へ一登 素物類切後は遺憾でら申込一會 青柳

に見るが

本配回三第

積資

立本

金金

店 橫 濱 市 壹億圓(全額拂込濟)

Contract

謎の國 余州のある の國か四下 姿を活

河流域の大都小景を語り、更に三千河流域の大都小景を語り、更に三千の特長から民族的特質、歴史文化、政的特長から民族的特質、歴史文化、政の北てゐない。支那とは一体如何なな事文は知られてゐるが、それ丈けな事文は知られてゐる方が、それ丈けな事文は知られてゐる方が、それ丈けな事文は知られてゐる方形、昔から四人と、未だ手のついてゐない無限の

支那問題研究所長 京都帝大教授文师博士 打增太郎

東大名譽教授經營陣士 路水鐵 五郎

満紫手ほどき

評

本制題に悩れての著者の所處を克め

された頃から約一年に页る支那の時本無は五色関仆れて南京政府の協立

日中

4161. 洋 大なる御好評を博し豫定數賣切 れま た難有厚く御禮申上ます 具 尙ほ冬服はより良いものを安く差上げますか ら不相變御用命の程併せて御願中上ます

滿 日 祖 廣告 用電話

新興支那(できない) ・○至できない。 数指滿少地圖(四年版

链围 滞州寫真帖(四年版)沒料十一錢

あるところ、今英文の外、 ーニウス紙上を飾り好評職々、 O五 四〇 觀 太郎將

内案好の泉溫 新夏の旅 慶文堂職品前

人體決定

員

松小渡井財宇安幣濱 田橋邊上部垣達喜山 源一千之 治太多助彪成藏郎幸

人體夫の如くなるもの

本富士彌吉 本 富士彌吉 再び意見を交換 今後の政局に善處

で政黨の天秤権を推いで政界のは関する其體的の話はなかつたと云ふとに関する其體的の話はなかつたに関する其間がの話はなかつた

清朝

組閣の大命を

鈴川俵原伊

謹んで拜受

鐵道事務次官

満鐵總裁の進退

政變と倶にしない

「東京二日愛電」渡いながらます。
「東京二日愛電」渡いながらます。
「東京二日愛電」渡いながらます。
「東京二日愛電」渡いながらます。
「東京二日愛電」渡いながらます。
「東京二日愛電」渡いながられば、という。 「東京二日愛電」渡いながられば、という。 「東京二日愛電」渡いながられば、という。 「東京二日愛電」渡いながられば、という。 「東京二日愛電」では、このき男のからないである。 「東京二日愛電」では、このき男のからないである。 「東京二日愛電」渡いなが、「東京二日愛電」渡いなが、「東京二日愛電」である。 「東京二日愛電」では、「東京」では、「東」では、「東京」では、「東京」では、「東京」では、「東京」では、「東京」では、「東」では、「東京」では、「東京」では、「東京」では、「東」では、「東京」では、「東京」では、「東京」では、「東京」では、「東」では、「東」では、「東」では、「東」では、「東」では、「東

日

(日曜水)

兩氏を訪問

赴任期 畑軍司令官

山本若槻の

鑑り四日

首相の事務引

政務官とは立場が違ふ

見るが如きとはない模様であるから政策と同時に選に強助

政新一致一

にの決定を見てをるものではない。 しい の決定を見てをるものではない。 を異にし更に一面特殊の使命を有する會社であり、その事業上東大郎、東京一方の会社であり、その事業上東大郎、東京一方の会社であり、その事業上東大郎、東京一方の会社であるのである。

は十日気出致旅順に赴任する豫定。『東京一日發電」畑関東軍司令官

政府に當る

植民地首腦部

反動勢力は最早

當分は留任

さつばりしてよろしい、と

存在不可能 蔣氏久し振に長廣舌 北平にて 前田特派員

(可認物便再種三集)

公然の批難を虞れて

左の近く変表さる。北半になったまち

務局長 西山 政猪

文部異動發表

美味はおきものの際におて!

百

限察の錯異監は之を約言すれば 即ち民國以来に、に十八年、內外人殊に北平の內外人は過去十 今の新勢力を現るに、以在の革命の新勢力を明版に四はれて現在の革命勢力を現在の革命勢力は國民黨 を成而した。現在の革命勢力は國民黨 の指導下に在る三、民國十五 の指導下に在る三、民國十五 の指導下に在る三、民國十五 の指導下に在る三、民國十五 の指導下に在る三、民國十五 の指導下に在る三、民國十五 の指導下に在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在る三、民國十五 の指導下。在。民國十五 の指導下。在。民國十五 の計算、日本 の割據

正案に就て

講師大連彌生高等女學校茶谷茂 第十四回 (第十四週第八課) A DOLL-STORE. 1. What can I show you, sir? Show me some dolls. These are good ones. How much are these? These are five yen each. 6. You have two prices.

7. No, sir, we sak the real price. 8. I will take this one for four yen and fifty sen. 9. All right, sir, and don't you want anything

else ? Let me see those on the shelf.

They are specially made ones, sir.

12. What do you ask for them? 13. This one is seven yen and that one is ten yen. 14. If you come down a little, I will take that one.

16. Then I will take it. 17. How would you like those Chinese dolls? They are rather cheap. Those on this shelf

are fifty sen. 18. Then I will take two one yen ones. My little daughter is very fond of dolls.

20. No, nothing more to-day. Please make a

B

ラヂオ英語講座

15. All right, air, you shall have it for nine yen.

are one yen each and those on that shelf

parcel of them. 21. All right, sir.

十口芝目 古道具質入れ 日盛町 まつ屋 電三七四七番 日盛町 まつ屋 電三七四七番 一番町たじまや電六六〇一番

大月三日李浦行 大月三日李浦行 七月三日李浦行

下する」と謂はれてゐるが此の を選げたる後更めて所感を述ぶ を選げたる後更めて所感を述ぶ

\Q

子供達が大喝米。後で吾乍ら馬鹿た男だと思つた。と傾とも云はずぐる~~踵り出した。吃驚して飛降りやうとす。と傾とも云はずぐる~~踵り出した。吃驚して飛降りやうとす。と傾とも云はずぐる~~踵り出した。吃驚して飛降りやうとす。

黄海北

部の水質

未満かかはらず下層にては、十度 大流は二十度以上に上昇するに 大流は二十度以上に上昇するに 大流は二十度以上に上昇するに 大流は二十度以上に上昇するに 大流は二十度以上に上昇するに 大流は二十度以上に上昇するに 大流は十度以上に上昇するに 大流は十度以上に上昇するに 大流は十度以上に上昇するに 大流は十度以上に上昇するに

あると推論する事が安賞であると推論する事が安賞であるまいか。

きめた

() 中島兼文

たも「九月以際黒棚支流の黄いた」、木は多く駅流に乗じて海 まり、木は多く駅流に乗じて海 まり、木は多く駅流に乗じて海 まり、木は多く駅流に乗じて海 まり、木は多く駅流に乗じて海 まり、木は多く駅流に乗じて海 まり、木は多く駅流に乗じて海

は職業會社の紋散らしで作々乙だ、下の様木が首の高さにある風にくるく、風車、近路つて觀るとかなりに大きい、然も帆布

名、女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合、女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合、女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合を整定を表対。 女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合を表対。 女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合を表対。 女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合を表対。 女子四名、最初の三十分は松部を築銃を以てなくりつけその場合を表対。 女子四名、最初の三十分は松部を楽銃を以てなくりつけその場合を表対。 女子四名、最初の第二十分は松部を楽銃を以てなくりつけその場合を表対。 女子四名、最初の第二十分は松部を楽銃を以てなくりつけその場合を表す。

我貨九百三十八腳五十六銭を張 東八十五腳)金黻水晶の製鐵時 は 原八十五剛)金黻水晶の製鐵時 は 原八十二間。腕時計五間。總計 な

に至る) 警覧製売を置い、住借報酬 ・ 一月、日より五月州一年 ・ 一日より五月州一年 ・ 一日より五月州一年 ・ 一日より五月州一年 ・ 一日より五月州一年 ・ 一日より五月州一年

日

東省實業定時

七月九日國大を始めに

てゐる

天

關西大學、松山高商

本 会夏奉天職保と試合を舉行するこ。表述監督教、復経武東書を仲謙孝とになつてゐる外來野球團中左の 認し損失金處分來は財産は一百十二萬五十三國十二、七月卅一日(水)對國學院大學 一二、七月卅一日(水)對國學院大學 一三、七月卅一日(水)對國學院大學 一二、七月卅一日(水)對國學院大學 一三、九月十一日(水)對國學院大學 一三、九月十一日(水)對國際大學 一三、九月十一日(日)對松山高商 七銭である

▲全大阪柔等

柔道遠征圏 一日大連よ カス國一行六十八名日無順往復

学 その慰勢の目的で地方保主催満の な 本顔を祭れる「東後」見物に三十 を 本種を終れる「東後」見物に三十 現職職地方の最大十月で任期続で

一行は地方委員全部と日頃関係を一十七名 事、それから馬事・腕事もない午前九時三十五分無順密深井三

が、山氏自己計製 本で一日午前〇時半死亡、雅儀の 東英氏愛息英雄君(三つ)は薬石利 の明子後四時に答案れた



不復州方面の政察を終へ二日降然 たりを視察中の荒川領事は一年 は五湖男堂

戀の鞘當て

被害者重態

主きの場合をなる。特別の実践と

榮ある優勝杯は

盛況を呈す

遣外艦三隻 和原原に於て の敗國は巧に衆官をまきその終す 学がして立まった、急報に接り無明行 学がして立まった、急報に接り無明行 の敗國は巧に衆官をまきその終す では非常線を張ったが神出鬼ときて らも見せなかつた 鮮支人質問

(四)

步

0

十日に入港 大阪場で鮮支人三十名大格闘を一日午後一時半四公園下水源池 機械軍遂に勝つ

チュア決勝戦

だが「粹山」で美彩速にとりまかれて冷ビールをきこし召す時は世れて冷ビールをきこし召す時は世れて冷笑を発達である。元気

より

練物である 一般では、単校にては来る六日父兄樹 を音樂のを書夜二回に宜り器行す。 を音樂のを書夜二回に宜り器行す。 を音樂のを書夜二回に宜り器行す。 を音楽のを書夜二回に宜り器行す。 を音楽のを書で、日次兄樹 小學校の父兄 慰安音樂會

取引信託重役會と

▲大山文峰氏(陽東事法務部長) は一日市内各所歴訪古別挨拶 は一日市内各所歴訪古別挨拶 水無月大版 遼陽神礼では 恒例に依り三十日午後八時から大 大きが三十年午前十時から正常のは、大きが三十年午前十時から正常の第一回の離合せを続いて、大道の片桐 △七六歩△三四歩△二六歩△八金四歩△二元歩△三四歩△二六歩△八五歩△七八金

に味つて戴きたい。 平案將棋の である事を後續手順を見るまで である事を後續手順を見るまで である事を後續手順を見るまで であって、至極平凡に手 順は選ばれてゐる様だが其處に であって、至極平凡に手 た感がある。

探るまでにても幾多先人供答がである事を特に御しらせしておきます。五六歩、五四歩の知きは最も新しい變化の多い含味である事を特に御しらせしておきます。最出一概に非難する事は一根に非難する事は一根に非難する事は一根に非難する事は一大歩と突出し一歩を手抜して入が、後手の五二金を手抜して入が、後手の五二金を手抜して入が、後手の五二金を手抜して入かったであらう。こうした初級の一手/~にも强い含味を發しの一手/~にも强い含味を發しの一手/~にも强い合味を發して入方がと突出し一歩を手成して入れたと思います。

滿日五人拔戰

小回勝、回日)

老の一人藤田德藏君同君の棋具をの一人藤田徳藏君同君の棋具に非常に元磊積益と言ふ有様で気然落武者の趣がある。殊に其治學力においては他の初段級何人も追随を許さぬ凄い處がある。此同君の凄味を永井君果して一人の強威を藉つて席様するか。

▲四八銀△六二銀▲五六歩△五 四歩▲六九玉△四一玉▲五八金 △五二金 職の跡 三段 宮本金三 戦のが 三段 宮本金三 戦のは我、連絡戦やと名乗り上げ でだって、見参々々と名乗り上げ でで、見参々でとる乗り上げ

▲一等 二八三五 ▲二等 二八八〇、四三四三、四 九三〇、六六四〇、六七六四 九三〇、六六四〇、六七六四 九三〇、六六四〇、六七六四 九三〇、六十四〇、三十四〇、三 1四二、三十四一、三七二七、 四八六五、□九四〇、六四〇九

第篇教育美談藝

東京人ご支那人の混血武藏野の今昔

全伙者

有大上

州一

安藝宮島

天下の大問題こなった良藥

左記

專賣所

歐米が文明か日本が文明か乃木大將と國民性

問會が是れまで取扱った全快者中には、

0

より

一ケ月は

1

で院病に並者

曾の薬を服んで全快した人も深山あり、 病院に入院又は醫者にかゝり服藥中、 の薬を服用せられた方が安全である。そ といふと、病院や陽者にか、りつ、商會 全快した人もあるのであるが、 又病院や陽者をやめて商會の薬のみにて の薬を服用せられることが、最も安全な る全快への近道である。 れは、素人目では病狀が良いやうに見い 陽者や病院の診療を受けつ、商會 病症の悪化しつゝあることもある いづれか

有田ドラッグ商會主 田

かおいので私の質疑談を御知らせして有田等以標の良樂を服用せられて一時も早く全快し姿幅になっ

と思ひます。

い決定 月田藥と醫藥で全快

名 市東區平瀬町馬走六元地

風形から高熱を酸し胸部に疼痛を 難柄が三週間で 立派上全快

一頭上大

川殿の南親の陛下に歸り編次町の して死の願門に近づく思ひで苦し

有田ドラツグの薬を服んではとす

とて一人でも多く、登供の悪に浴った、 近下洋洋町湾導寺 佐女木利瀬方 東京 古 一 亮 吉 全校者 吉田 亮吉

株エタツ田長

日下の庭南の日も風の日も農業の日を関いてゐます との言葉を聞くに至り形の様な感 百久。 百匁服めば

のは牛島肉、魚鰯、玉子、ソツ

終物として第一に**摂取するも** 単體の衰弱者、原場者が普通

小道に甘て教与が日本ら景になった日日から熱は下り胸痛は止り身態が進み大薬に臨れる。

本島の特色は如何なる管脈の 恋い人でも、管脈の前化作用を 恋い人でも、管脈の前化作用を 恋い人でも、管脈の前化作用を

CI)際献命白の人は産に戦色 等に加色を悪はす事 CII)。旅戦を増加する事はす事

9

治に性の人は泉橋に灌床を押す時

を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増す事を増すまた。 小野病等の飲料者にはまく 関、小野病等の飲料者にはまく 関、小野病等の飲料者にはまく である。 同ば本品 有田血液 である。

関東ないと見捨られた

有田血液素 スオーソール

新性の登賽物を鑑取せしめ、花 に於ても、入総製者に転して流 に於ても、入総製者に転して流 大は食養液に髪を服用せしむるのでは、一次は食養液に髪を服用せしむるのでは、また完全とはいいのでは、また完全とはいいのでは、また完全とはいいのでは、また完全とはいいのでは、また完全を受べている。

標路製の特製治肺劑及血液

英

根 全代者 森山 林藏

難病を

征服し

肺尖加答見全快所長が餘り經過が

有田血液素を限めば、左の 総となるのである。

6一七物を買るものがあり

る方が病氣の全性す

のお姿を服用しつい質節の診断を

ますので院長さんから診察を受け 長さんは經過のよいのに置いてゐ

られたが近週間服果の後には立家

崎 全代者 長田ツタエ 宮 無兄湯郡三財村並木

も効なく

有田藥で

受けました後、脈膜炎だと云ばれ になんとなく身體がだるく気分が悪なく、火災になんとなく身間がだるく気が悪なく、火災 ました。其時私の驚きは如何ばか

平上で有田ドラツグの薬の有質

大連但馬町

山京

竇寡(部西)ク

二油本

エチの

大阪深になり気分も勝れて来なる









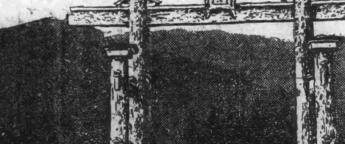














した。其上生光といふそれはそれ した。其上生光といふそれはそれ した。其上生光といふそれはそれ

悲歎の涙から

並製治肺劑於賜 th 圖 肺病が詩合薬

し紛は を禁

を賣る者あり

噌りが 有田音松

お池の噴水

聖徳小學校の運動場の片限に小さなお池が出来ました。まん

中の髪山から煎しさうな気が繋びよくよつてるます。休み時間になると子供塗に珍しさらに池の避りに集つて水の上を繋しさらに泳いでゐる小さな鴨を「こつちへおいでく)」と揺いてるます。そんな鴨を「こつちへおいでく)」

來甲のお庭の花園の低へ埋てや

様の捨て置け、そのま」はり出

水水中のでも大切な此の赤い小島

縁の解はぬと申すに、

よつて陰影の現代をつけるやう

◇…我は英語野話「妖精とスク

銀のお見さま

大連の子供さんよっ

るとの

いそいでいそいで

いきました。

びやうるんに

おいしやさまと

とにしんから骨折つてゐる學

びやうきになった

まゝにだかれて

さらさら彼の

動を含してゐる城市の装飾は十 べて不用だと思ふ、それより

> 量があつたらと感が出る。 があのテクニックにもう少しない。 この道」は實にうまいもの、だ

歩である。唯ステージの上の質

白ゲングラ幕に比べて敷設の進 ンも極めて調和よく、芸年の に左右に開閉する肉色のカーテ ツクを無にしたのもよい。静か 舞運面を區切つたのもよく

○第二部は矢野武子さんと山崎貞子さんの震盪ではじまる。

表来甲。まる、可哀さうに、

様。おいおい、小鳥を何處へ持

主機の繰り私に悪口を言ふから今

るのグリーンの共色で直線的にべると見違へるやうに整つてる

ろで十分間体数

・正面のステージは去年に比

正確なテンボが聴来の快感を

▲歌だ。この合唱が終つたとこ 20でゆく「次の野遊び」もい

の中で死んでゐるではございま

たのでございます、小鳥が能

扇子がハタくと美しくゆらぐのいほどの感況だ。色とりとくの

タクトに参の近く美しく歌ふっかの歌ひ手が関山先生の鮮かないの歌ひ手が関山先生の鮮かな

日

王様。どうも慣い小鳥だ、

◆辛薬生たちで身動きも出来ならりと眺める。見物席は保趣者 らりと眺める。見物席は保趣者

中に何かしら人生を暗示してるを続ける。極めてユーモラスな

先づ合唱「笑つて暮さう」に耳 それ位にして演出を眺めやう。

へパタンと戸の音

家來中の王様これは一體と

(主様はいなり難を床の上に叩い、かうしてくれる。

最後の合理が起まるころであつかれた。程が行つたのは第一部が行つたのは第一部の事務演習會が同校講堂で開

得られるだらうと思つた。

にすれば更にノーブルな感じが

出て來るのはよくない。やはり

を出てゆくのであった。

調子がよいのでつい引つと

「カツソウ・カプシタ・カ

ースが何の豫告もなく暮の前にてゐた。唯開幕前にサンタクロ

◆…かくてたばれば、食を閉ちたのは午後五時半、保護者たちたのは午後五時半、保護者たちは薬足の笑ひを逃へながら校門

した」:

こといふ言葉ださ

ました。來なさい。

行つて

特によかつた。

對話もよく練れ

川校長も目をしばたよく、

なは昨日も見たのですが態度

「行きますの行きませらのだけをでする

者だりまする、

あなたは馬鹿だ、

學藝會を見る

様のようし、もう動物は出来な

白

崎

正

(六)

主様で言つたな、言つたな、おいて主様で言つたな、言つたな、言つたな、おいて トミーち、らなたは動鹿だ、悪赤い小島。えょゝ、いくらでも言 うなるか覚悟の上かい、 傷の筋には一日だつて居たくな 泉へ彫りたい、こんな馬鹿な玉り一度ペルシャの砂漠の綺麗な 機だ機だ、

日

何處か、

時にお掘様はどこに居らつしゃ の、此の部屋の隅に居か、此の部屋の隅に居

家來甲のいえ、私は今夜、宿直で お前も早く觀るがよい、 こざいますから起きて居ります お前も大の部屋で休息せい。ではないか、私は眠い、さる、ではないか、私は眠い、さる、 **承来中。はい、** から解らぬわ、

(王)

マセン デシター

テムカヒスルコトガ デキ

クロンボガ 大チャンラ カウ

ワンワン・ホエナガラ マニ ナツテヰマシタで

オヒカケマシ

イデ ハシリダシマシタの

カマヘマンタのシカシ

大チャン

タのソシテ

ーバン オホキナ

ツカマヘテ

シマヒマシ

大チャ

大チャンハ

クロンボハ

ニド

大チャ

ノタンケン

(66)

N 9

3

2

ウ

ラヂオ童話劇

家來甲 。どれ私も次の部屋へ聞る

神明高女の

まるで想だ、あ、あ、観だ観だな、駆けはいちめる小鳥は殺す へパタンと戸の言う へパタンと戸の音 (つゃく)

描き出される夢灯の場面などは共によく、フェアリーによつて 来、ステージの感じも、演出も

23

東洋きぬ麻

アリーがスクルーデの宝に入って来て部屋の中を聴い足どりで るやうにしたい。それからフェ 概は幕が聞くことによつて始ま 歩き廻る間はやはり音樂があつ た方がよいと思ふっ

---【信五年】

長校學小正大 郎一誠下湯

ステージについての感想は

大は邦語動話「かながき四

童

學校多觀

ザアザア浪の 風の夜は ポプラ遊木の ポプラの風 大連 武藤カズヱ

お勉強の仕方といひ、お行機のよいとといひ、注意はすべてにおいたので繋心に見れば見る行きわたつて繋心に見れば見る

病いんごつい

常盤小學校三年

早川壽美

きよ井上布

磨です

故にスモカを使へば

スモカは主こして喫煙家の歯

を見ました。京城にもよい小學

大笑ひをした。(京城にて)

兒童の

作品

純麻正監

それから學校

と申しましたらみんなでどつとを聞くようだ」

ほど通風換氣清潔整頓に至るま

生方もよい先生、生徒方もよ感心をさせられた學校です。

小さな小さな

よい者とよい者との集

しろいべべきた

風に舞び 風の夜は 居るやうだ。 部の近くに おうちの中で ポプラ遊木の スのカーテ

校でした。同心協力力を伸ばするというなられて、前へく、調子を指するというないというではない。

かはいい病るん

かんごふさん

できました。

全國百貨店及

激のクライマック を飲べていたいきました。

東て起は一夜作りに朝鮮の言葉 来て起は一夜作りに朝鮮の言葉 ソ。ワッソ。カックワッソーと 「カツソウ。カブシタ。カケツ

次郷に戻にさそはれ第三個の最近 かルシーンに始まったが観光2つてる た。此の側は最初等小屋のコミ た。此の側は最初等小屋のコミ 使心原しづさんの獨唱が始まる りませんか。

ナつかりなほつて

皆さんはこれまで以上に考へる来る方々であるそを信じます。 私はあなた方がこちらの子供さ んに負けぬやうにもす

さんは誰もくがはたしてしつ のすがた中行ひをみつめながら はちつともみにくいところがあ を入れて下さい。お願い申しま かりやつてるますかっ皆さんに ことがなくているでせらかっ皆 自分をみがくことに力 皆さんは自分 おにんぎょさんを べつとの上に おいしやさまが ねせました。 にんぎやうに かんごふさん

続いんで にんぎゃうさんの かんごよさんが ちやうしんきあてて おびやうきは おくすりのます。 しんさつし

皆さんも一度酸を出して言つて 大々に覧えて行きます。 大々に覧えて行きます。

私は、外や弟にこの言葉

「あ」面白い、ホトトギ

御覧なさい。

看心地のより 氣品高 >

にんしん按腹 乳もみ其他腰痛手足の痛む倒方様 は側条マッサージをんぶく 大連市美濃町二五電ホホハハ 大連市美濃町二五電ホホハハ

競美流

鼻 图 图 澤 0

且

田

話

技工に丹念

ーマキツト海東に召す

盛夏用的神品物

○御洋行には……是非――坂本〇郎 東の……味はなけれどの動きまで……米の味するの動とまで……米の味する

明ふ身になって

宫 大連市伊勢町日本橋際

屋

1

流行の夏服地が 澤山参り 1:

御用命の程伏て願上候

目品服洋製旣

發賣元

有名正具服店

のみの コバタ 000

口中の荒れ!

臭ひ!

スモカほ過度の喫煙から來る

そして喫煙家ならずとも誰も

の歯を純な白さに輝かせます

歯の黒いヤニがぢき取れます

それ以上の消費は濫費ですー 駄な散亂を防ぐためです を與へてあります 人一罐の使用量は約一ヶ月强 スモカの粉末には適度の潤ひ を常に正しい狀態に置きます の不進し それを防いで口腔 それは無

リア=店業 品粒化 草煙

電話ケー

であるといふ風評は以前から聞い

目証内に設け新聞記者のをで、 製の失策であることは當然で、 乗客四百名は海事審判の結果を 乗客四百名は海事審判の結果を 乗客四百名は海事審判の結果を 乗客四百名は海事審判の結果を

三

加客四百名の損害

日

萬圓賠償を要求

海事審判の決定後に

ばいかる丸坐礁は船長の失策

外二名に辯護士が事務を執つて る見込みである

不平を懐く者の

中傷宣傳だらら

水産會には木正無し

小川關東廳殖產課長談

み切れ

ya

喜び

0

顏

緊る

0

きの

ふ市内所見

めて完成された發酵映画を紹介には一日協和資施に於て満洲に

息詰る緊張振りの濱口氏に

り つく、詰めか網風大君が電話口に お召し電話の刹那

をしながら漫話口にベコくお 神經が極度に緊張する、中島君 は『ハアく』と畏まつた返事 ののでは、「中島君」と思いる。 切れぬ喜びが溢れる、既の内外に観味を述べるとライオンでは、説がを述べるとライオン 次心をいる

は中島秘書を從へ支陽先に横づは中島秘書を從へ支陽先に満つりのき返る萬蔵の際に送られてり頭き返る萬蔵の際に送られて

は大阪から緑込んだ四十名の紫色は大阪から緑込んだ四十名の紫色は街路の眺望と繋が、地域器技の現率する三、紫海路は街路の眺望と繋が、 ○…成儀 正しい強いさ

園公山に

怪漢閩人

である にして准決勝の組合せは左の如く

達のため帯域である

全英庭球選手 惟大會成績 國籍を偽つて

ルス能々決勝の結果左の如し ルス能々決勝の結果左の如し ルス能々決勝の結果左の如し アラインプルドン一日發電』全英 コーシエー六一四チンメル (和蘭)

チルデン (六一四) (米) (仲) (十一五) (佛) (仲) (十一五) (佛) ン (英)【六ー二】ケーリング

が補助金を下附する

なは、とは、
は対象もない
は対象もない
は対象もない
は対象もない
は対象もない
は対象もない
がなどを
下附した等と像
やコズス 「六ーー」 人 シルグハス派を
下附した等と像
やコズス 「六ーー」 人 シルグハス派を
下附した等と像
・ウイルス 「六ーー」 人 シルグハ (米) 「六ーー」 人 シルグハス派を 決勝成績は (米) 「六ーー」 人 シルグハ (本) 「六ーー」 (南阿)

蘇家屯驛附近の

ヤコブス嬢(英)對 ウイルス嬢(米) 眞赤な ぜられたので近く州外へ落ちゆくの皮を剝がされ、早速論冒退去を命 嘘と判断、化け 退去を命

練習艦隊發航

「輔弼の任を過る勿れ」 書面を懐ろに

オリエン

夕

ル

貿易商會

夜間

大連私書函第壹號 四九三番

出前は迅速に御届け致しま

錦江亭

煙草と洋酒と食料品

最る新しい好ましい

御中元御贈答用品は

程伏して御願ひ申上げ候 敬具 移轉先 洋菓子並材料 直輸入 日本各

加賀町四番地

(元山下汽船會社跡)

地名産

◎同じ値段なら必ず品が良い◎同じ品なら必ず値段が安い 中元品大賣出 界各種 東京風菓子謹製 ・珍品店内に 酒類 山積 食 料

內科專門 信濃町市場正門前 根 電話八三四三番

000

移 みや エト げ品 プ・花

御一報大第店員參上仕可候

盛洋行

初夏男女兒服

富士絹及り

v

ス製

シ・風

額緣商 渡滿記念火バ 大連市浪速町三丁

中元贈答品買出に賑ふ 改善處か

ものと確信してゐる。これは怨ら ものと確信してゐる。これは怨ら 大統裁を養命等。 大方面の中條的質慮だと思ふが、 た方面の中條的質慮だと思ふが、 は変数などのでは、 がかる浮哉が質しやかに傳へられ を表表が、 である。 これは怨ら を表表が、 である。 これは怨ら

平前十一時

ラデス

五、清元(資浴衣汗雷) 大檢哏、 三味於蘇路 六、支那唱(哭長城) 唱陳金鈴、 插付王續泉

n

lil?

内カヤ

御通學用 用

不正の

介在す除地なき

は、管下各方域に新して示達して来た、この傾向は関東原の生活政善會ではこの夏から「中元順答品の際止」を申して「特人連もボーナスの機関かをさいて中元質の出しと云ふのが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情はそれを表情があるが、まて事情は表情があるが、また。 大連市内の各商店街 0

者業失の連大 求職申込み 求人は平均百名内外に百五十名位 社會館職業紹介所調べ

が大連にどう映るか?。常線町が大連にどう映るか?。常線町の ・新設された社會館の職業紹介 に新設された社會館の職業紹介。 ・新設された社會館の職業紹介。

をで安場に就く――共通で

0

0

▲新柄で好い品を澤山見切で居ります ▲御贈答には (幣店) ▲持に堀出物澤山 御自由に御選擇を さつばり して氣の利 の新柄揃の中より 見

H 新州澤山

五

♥何で 磐 城町 商

一日より十五日迄は中元特價聯合の大賣出しを致しますも安價で便利で其上景品迄付けて差上ます 店

振響 **耐聯合全會出**

全町に亘りて夜店を開始しました一等百個以下の全部空籤なしの大景品付です

感じ左記へ事務所移轉仕り一層努力奮勵致し度倍舊の御引立の顧を蒙り千萬辱なく奉存候陳者弊行儀從前の店舗にては狹隘を謹啓三伏の炎暑烈しき折柄益々御隆昌奉大賀候每々格別の御眷

観遊

皮京府下街千住町三丁目 第九三八二八號

長命兆臺

もも長命

はき耐久力有る氷嚢はなき耐久力有る氷嚢は

17

イピストを手先に使つて、

ハ、、こいつは一日くな

あつた。 2:

の美しい可憐な命が、アラウネで

·兒科醫院 常住宅電車停留所前

電話七九八七

大連

麓柳町三二

短夜の城門守る兵士かな 明易き江岸を出し後かな 明易き瀬屋の離婚のはてにけり 明易き瀬をの離婚のはてにけり 明易き瀬をの電燈映る埠頭かな 短夜の電燈映る埠頭かな 短夜の間でのでにぼやけて明らかな 短夜のがに貨車の薄き水る では 和田 島峯 短夜のがに貨車の薄き水る であのがいてにばやけて明らかま であった かい しんの家

V

ツク

制

・ 情感しいことです!」と気ひ変として去つた物のフランタとの間にとれた感が、彼女に新しい悪生を生れた感が、彼女に新しい悪生を 原注、人を頷るものは「科學」ではなくて「愛」である!

キッコーマン特理を

51

多少に拘らず御用命願上ます

もつかずにちつと心臓めてゐるのうウオ」を、仁科美知子は、呼吸ラウオ」を、仁科美知子は、呼吸ラウオ」を、仁科美知子は、呼吸

花柳病科、

小兒科

米穀商

志摩洋行

電話。巨統番

畑

院

を話せ 〇六四番

満日に

文藝

滿日俳壇

新柄

天江

雨江

七二六六話

九三四三連大替振

に づなから解放したのであるか?愛してが、「脚士の発験」なる助手であつたが、「脚士の発験」なる助手であつたが、「脚士の繰りに冷酷な科學者的な態度に、質りを催して「最安さん! あなたは神を試さうとなさる

生活の淵(も

褪 窓 (27)

雄

呪ひ己を奏く。 に及んで、狂せんばかりに関土を ن

無額、料等、使事數等には取り分割。 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 一般的、力学を殺し間消費の動品 職イマッ 芳香油 さみ止 限る

社

古各

代理店 順和公司

とまり 1111

コレコソ安全確實請合

錄 業 目

型カコンクリ 低炭土工に関する 様 楽

本社 東京市大の場所 共他鐵筋田 鐵筋加工 鐵筋混凝

株式

東天加茂町十二番地 現場 競小 野 電報 電報 開新 新 新 新

ますれ 玉鉄節ラグール煙突 出張所

優品良質

御場

摩服地 母八四七五軍

吳動大連出張所 邈町 辻利ビ

商洋洋 水。清 署四0九二银 行

無效縣

私しゃ備前。岡山生 いはち、きル

杯"杯"杯" -

美味滋養ぶどう酒

血を増し肉を肥す

店商術兵利藤近體門本京東元賣發

0

學校

成績がいした勝手頭の

海美珠新鲜富 箱入サンドウヰツェーの電盤橋のマルイバ

一五二八電

切らずやずに根子的小 定價七日分前 十五日分四円